

地方独立行政法人福岡市立病院機構
平成24年度の業務実績に関する評価結果報告書

平成25年8月

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会

目 次

はじめに	1
第1項 全体評価	2
第2項 項目別評価	4
（1）大項目評価	
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	4
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	6
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	7
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	8
（2）小項目評価	
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	
1 医療サービス	20
2 医療の質の向上	34
3 患者サービス	46
4 法令遵守と情報公開	54
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	
1 運営組織	56
2 収支改善	58
3 人事・給与	68
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	
1 経営基盤の確立	70
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	
1 新病院に向けた取組み	74
2 福岡市民病院の経営改善の推進	76
〈参考資料〉	
○地方独立行政法人福岡市立病院機構 業務実績評価の方針	80
○地方独立行政法人福岡市立病院機構 年度業務実績評価実施要領	82

はじめに

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会は、地方独立行政法人法第28条の規定に基づき、地方独立行政法人福岡市立病院機構の平成24年度における業務実績の全体について総合的に評価を実施した。

評価に際しては、本評価委員会において、平成22年11月10日に決定した「地方独立行政法人福岡市立病院機構業務実績評価の方針」及び「地方独立行政法人福岡市立病院機構年度業務実績評価実施要領」に基づき評価を行った。

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会 委員名簿

	氏 名	職 名
委 員 長	長 柄 均	福岡市医師会 副会長
副委員長	松 田 晋 哉	産業医科大学医学部公衆衛生学教室 教授
委 員	佐 田 正 之	医療法人佐田厚生会佐田病院 院長
	野 口 久美子	福岡県看護協会 副会長
	吉 水 宏	公認会計士

第1項 全体評価

評価結果及び判断理由

〈評価結果〉

平成24年度の業務実績に関する評価については、すべての小項目評価が「評価3」以上であることから、第1から第4の大項目評価はすべて「評価A」と判断した。

この大項目評価の結果を踏まえ、平成24年度においては、福岡市の医療施策として求められる高度専門医療・高度救急医療を提供するため、両病院において着実に医療機能の充実が図られるとともに、新規施設基準の取得などの積極的な増収対策や、徹底した費用削減の取組みなどにより、結果として、法人全体として平成23年度を上回る経常黒字を達成したことから、平成24年度の業務実績は「全体として中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」と評価する。

〈判断理由〉

こども病院・感染症センターにおけるICU増設などによる高度かつ難易度の高い手術症例の受入体制強化や、福岡市民病院における難易度の高い手術の施設基準の取得や救急科の新設など、着実に医療の質の向上を図るとともに、患者のニーズを踏まえたサービスの向上や、地域の医療機関との連携強化に積極的に取り組んでいる。

また、人材確保が困難な中において、大学病院への積極的なアプローチによって医師の確保を着実にを行うとともに、認定看護師の育成や、医療技術職の専門性向上を図るなど、組織の強化・充実を図っている。

さらに、理事長を中心に、両病院と事務局が一体となった経営体制を構築し、経営管理の徹底を図っている。

こうした取組みの結果、診療単価の上昇などによる増収に加え、診療材料等の調達にかかる価格交渉の徹底などによる費用削減の取組み効果と合わせて収支もさらに向上し、平成23年度を上回る経常黒字を達成している。

項 目	評価項目数	ウェイトを考慮した項目数	小項目評価					大項目評価
			評価5	評価4	評価3	評価2	評価1	
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	14	28		12	16			A 計画どおり進んでいる
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	5	13		6	7			A 計画どおり進んでいる
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	1	2		2				A 計画どおり進んでいる
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	2	4		2	2			A 計画どおり進んでいる
合 計	22	47		22	25			

全体評価にあたって考慮した内容

〈主な取組みや特色ある取組み〉

こども病院・感染症センターにおいては、休日・夜間における救急診療体制の強化や、ICUの増設による手術患者の受入体制強化に努めるなど、診療機能の充実を図っている。また、産科において、こども病院であれば救命の可能性が高い重症例を受け入れるなど、地域の基幹病院との連携を図りながら、地域周産期母子医療センターとしての役割を果たしている。

福岡市民病院においては、難易度の高い腹腔鏡下手術等の施設基準を取得するなど、高度専門医療の充実を図るとともに、新たに救急指導医や救急専門医を配置し救急科を新設するなど、高度救急医療の充実を図っている。

両病院ともに地域医療支援病院としての役割を果たすため、開放型病床への登録医の拡大やオープンカンファレンスの開催などを通じて地域の医療機関との連携強化に努めるとともに、患者の利便性向上を目的に、クレジットカードによる医療費の支払を4月から開始するなど、患者のニーズを踏まえたサービス向上に取り組んでいる。

新病院については、平成26年11月の開院に向け本体工事に着工するなど、着実に事業の進捗を図っている。

〈特筆すべき取組み〉

増収対策として、こども病院・感染症センターにおいては、ICUを増設するなど手術患者の受入体制強化による高度かつ難易度の高い手術件数の増加や、地域周産期母子医療センターの認定に伴うDPC係数の増などによって増収を図っている。

また、福岡市民病院においては、高度救急医療等の展開や難易度の高い手術症例の増加などによる新規入院患者数、救急搬送件数及び手術件数等の増加によって増収を図っている。

さらに、費用削減については、両病院ともに外部コンサルタントを活用した診療材料等の調達に係る価格交渉の徹底や、委託契約の見直しによる複数年契約の導入、ジェネリック医薬品の使用拡大等による費用削減に取り組んでいる。

この結果、法人全体として、平成23年度を上回る経常黒字を達成している。

特に、福岡市民病院については、中期計画に基づく経営の効率化や健全化に取り組み、平成23年度に引き続き医業収支比率の黒字を達成するなど、経営改善が順調に進んでいる。

評価にあたっての意見、指摘等

「第1-3-(1)患者サービスの向上 イ、福岡市民病院」

患者満足度調査における「非常に満足を感じている患者の割合」が目標値及び前年度実績値を大きく下回っていることについては、その原因の分析及び改善に努められたい。

「第2-2-(1)増収 ア、こども病院・感染症センター」

病床利用率や新規入院患者数など、前年度実績を下回っている項目については、その原因を詳細に分析し、対策を講じるべきである。

「第2-2-(1)増収 イ、福岡市民病院」

院長をはじめ、各医師等の一丸となった取組みにより、医業収益が大きく伸びていることについて、高く評価する。

「第2-2-(2)費用削減」

今後は人件費などの費用削減について、より一層の努力を期待する。

「第4-1新病院に向けた取組み」

市民の期待に沿うことができるよう、一日でも早い開院に向け努力していただきたい。

第2項 項目別評価

(1)大項目評価

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

評価結果 A (計画どおり進んでいる)

評価結果

「良質な医療の実践」「診療体制の強化・充実」「病院スタッフの確保と教育・研修」の項目において、目標を上回る成果を上げているほか、ほとんどの項目で年度計画を順調に実施している。

評価結果	S 特筆すべき進捗 状況にある	A 計画どおり進ん でいる	B おおむね計画ど おり進んでいる	C やや遅れている	D 重大な改善すべ き事項がある
------	-----------------------	---------------------	-------------------------	--------------	------------------------

※ 評価A=小項目において全ての項目の評価が3~5

小項目評価の集計結果(評価した項目数)

項 目	評価 項目数	ウエイト を考慮 した 項目数	小項目評価				
			評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1
1 医療サービス	5	13		6	7		
2 医療の質の向上	4	8		6	2		
3 患者サービス	4	6			6		
4 法令遵守と情報公開	1	1			1		
合 計	14	28		12	16		

評価判断理由

①特筆すべき小項目評価

「1-(1)良質な医療の実践 イ、福岡市民病院」

難易度の高い腹腔鏡下肝切除術等の施設基準取得や、脳卒中地域連携パスの発行件数が市内医療機関で最多となるなど、高度専門医療の充実が図られるとともに、新たに救急専門医を配置するなど、高度救急医療の充実が図られていることから、「評価4」とした。

「1-(2)地域医療への貢献と医療連携の推進 イ、福岡市民病院」

地域医療機関との連携強化や、地域住民に対する出前講座などにも積極的に取り組んだ結果、全ての項目で目標値を上回るなど、着実に成果を上げていることから、「評価4」とした。

「2-(1)診療体制の強化・充実 イ、福岡市民病院」

入院部門のセンター化による専門性の高いチーム医療を実践するとともに、救急科の開

設や、腎臓内科医師などの専門医を新たに配置するなど、人材確保が困難な中において、年度計画を上回って診療体制の強化・充実が図られていることから、「評価4」とした。

「2-(2)病院スタッフの確保と教育・研修」

人材確保が困難な中において、医師等の確保が着実に進められるとともに、認定看護師の育成や、医療技術職の専門性向上を図るなど、教育・研修体制の充実が図られていることから、「評価4」とした。

「2-(3)信頼される医療」

服薬指導や栄養食事指導の充実に努めるとともに、クリニカルパスについても新たなパスの作成に取り組んだ結果、全ての項目において目標値を上回るなど、着実に成果を上げていることから、「評価4」とした。

②その他考慮すべき事項

特になし。

評価にあたっての意見、指摘等

「3-(1)患者サービスの向上 イ、福岡市民病院」

患者満足度調査における「非常に満足を感じている患者の割合」が目標値及び前年度実績値を大きく下回っていることについては、その原因の分析及び改善に努められたい。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

評価結果 A (計画どおり進んでいる)

評価結果

新規施設基準の取得などによる増収を図るとともに、徹底した費用削減を図ったことにより、両病院ともに経営に関する目標を上回る成果を上げているほか、ほとんどの項目で年度計画を順調に実施している。

評価結果	S 特筆すべき進捗状況にある	A 計画どおり進んでいる	B おおむね計画どおり進んでいる	C やや遅れている	D 重大な改善すべき事項がある
------	-------------------	-----------------	---------------------	--------------	--------------------

※ 評価A=小項目において全ての項目の評価が3~5

小項目評価の集計結果(評価した項目数)

項目	評価項目数	ウェイトを考慮した項目数	小項目評価				
			評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
1 運営組織	1	2			2		
2 収支改善	3	9		6	3		
3 人事・給与	1	2			2		
合計	5	13		6	7		

評価判断理由

①特筆すべき小項目評価

「2-(1)増収 イ、福岡市民病院」

新規入院患者数、手術件数、救急搬送件数の増加及び入院診療単価の上昇などにより、医業収益において、前年度及び目標値を上回る増収を達成したことから、「評価4」とした。

「2-(2)費用削減」

職員の増員などによる費用増加の要素はあるものの、多様な契約手法の導入などによる徹底した費用削減が図られたことにより、予算に対して約6億3千万円の費用削減を達成していることから、「評価4」とした。

②その他考慮すべき事項

特になし。

評価にあたっての意見、指摘等

「2-(1)増収 ア、こども病院・感染症センター」

病床利用率や新規入院患者数など、前年度実績を下回っている項目については、その原因を詳細に分析し、対策を講じるべきである。

「2-(1)増収 イ, 福岡市民病院」
 院長をはじめ, 各医師等の一丸となった取組みにより, 医業収益が大きく伸びていることについて, 高く評価する。

「2-(2)費用削減」
 今後は人件費などの費用削減について, より一層の努力を期待する。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

評価結果 A (計画どおり進んでいる)

評価結果

経営管理の徹底による効率的・効果的な経営を行うことにより, 両病院及び法人全体としても運営費負担金繰入後の経常黒字が達成されており, 年度計画を順調に実施している。

	S	A	B	C	D
評価結果	特筆すべき進捗状況にある	計画どおり進んでいる	おおむね計画どおり進んでいる	やや遅れている	重大な改善すべき事項がある

※ 評価A=小項目において全ての項目の評価が3~5

小項目評価の集計結果(評価した項目数)

項 目	評価項目数	ウェイトを考慮した項目数	小項目評価				
			評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
1 経営基盤の確立	1	2		2			
合 計	1	2		2			

評価判断理由

①特筆すべき小項目評価
 「経営基盤の確立」
 法人本部における「経営会議」において, 随時, 経営状況を検証するとともに, 各病院においても, 部門毎に診療内容や経営に関する具体的な目標設定と達成状況を確認するなど, 経営管理を徹底することにより, 経営に係る全ての項目で目標値を大きく上回る成果をあげていることから, 「評価4」とした。

②その他考慮すべき事項
 特になし。

評価にあたっての意見, 指摘等

特になし。

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

評価結果 A (計画どおり進んでいる)

評価結果

新病院に向けた取組みについては、平成26年11月の開院に向け着実に事業を推進するとともに、福岡市民病院の経営改善については、2期連続となる医業収支比率の黒字を達成するなど、年度計画を順調に実施している。

評価結果	S 特筆すべき進捗状況にある	A 計画どおり進んでいる	B おおむね計画どおり進んでいる	C やや遅れている	D 重大な改善すべき事項がある
------	-------------------	-----------------	---------------------	--------------	--------------------

※ 評価A=小項目において全ての項目の評価が3~5

小項目評価の集計結果(評価した項目数)

項 目	評価項目数	ウエイトを考慮した項目数	小項目評価				
			評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
1 新病院に向けた取組み	1	2			2		
2 福岡市民病院の経営改善の推進	1	2		2			
合 計	2	4		2	2		

評価判断理由

①特筆すべき小項目評価
 「2 福岡市民病院の経営改善の推進」
 高度救急医療・高度専門医療の充実による増収に加え、徹底した費用削減に努めた結果、2期連続となる医業収支比率の黒字を達成するなど、経営改善の取組みが着実に進んでいることから、「評価4」とした。

②その他考慮すべき事項
 特になし。

評価にあたっての意見、指摘等

「1 新病院に向けた取組み」
 市民の期待に沿うことができるよう、一日でも早い開院に向け努力していただきたい。

(2)小項目評価 別紙のとおり

(別紙)

地方独立行政法人福岡市立病院機構
平成24年度の業務実績に関する評価結果

小項目評価

福岡市立病院機構の概要

1. 現況（平成24年4月1日現在）

① 法人名

地方独立行政法人福岡市立病院機構

② 本部の所在地

福岡市博多区店屋町4番1号

③ 役員の状況

（平成24年4月1日現在）

役員	氏名	備考
理事長	福重 淳一郎	福岡市立こども病院・感染症センター院長
副理事長	竹中 賢治	福岡市民病院長
理事	石原 進	福岡経済同友会 代表幹事
	高橋 宏和	元 福岡市代表監査委員
	青木 知信	福岡市立こども病院・感染症センター副院長
	是永 大輔	福岡市民病院副院長
監事	伊達 健太郎	弁護士
	新原 清治	公認会計士

④ 運営する病院

（平成24年4月1日現在）

病院名	所在地	病床数
福岡市立こども病院・感染症センター	福岡市中央区唐人町2-5-1	一般病床 190床 感染症病床 22床
福岡市民病院	福岡市博多区吉塚本町13-1	一般病床 200床

⑤ 職員数

（平成24年5月1日現在）

区 分	職員数
合 計	686人
こども病院・感染症センター	360人
福岡市民病院	307人
本部事務局	19人

2. 基本的な目標等

地方独立行政法人福岡市立病院機構は、地方独立行政法人制度の特長である自律性、自主性を最大限に発揮し、医療制度改革や診療報酬改定など医療を取り巻く環境の変化に迅速かつ柔軟に対応しつつ、効率的な病院経営を行いながら、地域の医療機関等との機能分担や連携の下、引き続き高度専門医療、救急医療等を提供し、地域における医療水準の向上、市民の健康の維持及び増進に寄与すべく、以下の基本理念及び基本方針の下、福岡市長から指示された中期目標を達成する。

〈基本理念〉

いのちを喜び、心でふれあい、すべての人を慈しむ病院を目指します。

〈基本方針〉

質の高い医療の提供

地域・社会に貢献する病院

健全な病院経営

1 法人の総括と課題

法人設立3年目となる平成24年度については、福岡市から示された中期目標の最終年度となることから、この目標の達成に向けて、過去2年の業務実績を更に向上させるべく、医療機能の強化やより一層の経営改善に取り組んだ。

福岡市から独立した法人として、地方独立行政法人制度の特長を最大限に生かした自律的な経営が求められていることを踏まえ、理事長を中心に、両病院と本部事務局が一体となった経営体制を構築するとともに、外部理事を含む理事会を定期的開催し、経営管理の徹底を図った。また、人員体制についても、大学病院への積極的なアプローチ等によって医師の確保を図るとともに、看護師や医療技術職等についても、採算性を確保したうえでの増員を行って組織の強化・充実を図った。

これらの経営基盤の下、中期計画及び平成24年度の年度計画に基づき、こども病院・感染症センターにおいては、ICUの2床増床により、福岡市民病院においては、難易度の高い手術の施設基準の取得及び救急科の設置などにより、着実に病院機能の高度化を図った。

また、両病院ともに地域医療支援病院としての役割を踏まえて、積極的に地域の医療機関との連携強化に取り組み、地域医療への貢献に努めた。

経営収支面では、両病院においては、高度専門医療の提供に伴う難易度の高い手術症例の増加や4月に実施された診療報酬改定を的確に分析し、新規施設基準の取得などの積極的な増収対策に努めるとともに、診療材料等の調達に係る価格交渉の徹底などによる費用削減に取り組んだ結果、平成23年度に引き続き、純利益は黒字を達成した。また、福岡市からの運営費負担金についても、独法化前と比較して大幅に削減することができた。

今後の課題としては、平成26年11月に開院予定の新病院について、21世紀にふさわしい子供達のための病院づくりを目指して着実に事業を推進する必要があるほか、福岡市民病院についても、平成26年度の早期に救急機能の強化や感染症病床の拡張のための別館の建設を予定していることから、診療機能の強化に向けた検討を進めていく必要がある。

2 大項目ごとの特記事項及び各病院の取り組み状況

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

(1) 医療サービス

福岡市の医療施策として求められる高度専門医療、高度救急医療等を引き続き提供するために、診療機能の更なる充実を図った。こども病院・感染症センターにおいては、ICUを2床増床したほか、医事受付業務の時間延長や休日業務を開始するなどの取り組みを行った。

福岡市民病院においては、医療法で定められた医療計画における4疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞及び糖尿病）への対応を中心に高度専門医療の充実に努めるとともに、難易度の高い腹腔鏡下手術の施設基準を取得したほか、救急医療への対応強化のために救急科を新たに設置した。

また、両病院ともに地域医療支援病院としての役割を果たすため、開放型病床への登録医の拡大やオープンカンファレンスの開催などを通じて、地域の医療機関を中心に積極的な病病連携・病診連携に努めた。

さらに、災害発生に備え、両病院ともに防災訓練の実施や食料・飲料水や応急薬品等の備蓄を適切に行った。

(2) 医療の質の向上

診療体制の強化・充実及び医療スタッフの確保については、こども病院・感染症センターにおいて、診療機能の充実と新病院の開院を踏まえ、医師の増員やICU・NICUの看護師の増員により診療体制の強化を図った。福岡市民病院においても、入院部門における臓器別センター化や多職種に亘る専門性の高いチーム医療を実践するとともに、救急病床の設置や救急指導医等の増員により診療体制の強化を図った。

このほか、職員の教育・研修については、両病院ともに認定看護師の育成を積極的に行ったほか、医療技術職についてもそれぞれ専門的な資格を取得させるなど、専門性及び医療技術の向上を図った。

また、信頼される医療の実践についても、服薬指導や栄養食事指導の充実に努めたほか、新薬の開発治験への取り組みを推進した。

(3) 患者サービス

両病院共通の取り組みとしては、患者一人ひとりに質の高い医療及び充実した看護を提供することが患者サービスの基本と捉えたうえで、より一層の接遇改善も含め、職員が一丸となって患者サービスの向上に取り組むとともに、ボランティアの協力も得ながら患者満足度の向上に努めた。

こども病院・感染症センターにおいては、退院時のアンケート調査や外来患者を対象とした待ち時間及び満足度調査を継続して実施し、これらの結果を踏まえながら更なる患者サービスの向上に努めた。

福岡市民病院においても、患者満足度調査を継続して実施し、これらの結果を踏まえながら更なる患者サービスの向上に努めるとともに、患者の声や催事情報等を掲載した情報誌を発行するなど、患者への情報発信に努めた。

また、両病院が連携して、4月から医療費のクレジットカード支払を開始し、患者の利便性向上を図った。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

(1) 運営組織

効率的・効果的な経営を行うため、任期満了に伴う理事会の新体制を整え、平成24年度は合計11回の理事会を開催し、法人の経営方針を決定するとともに、適宜、経営管理諸表による経営状況の把握や年度計画の進捗状況を管理し、業務執行の適確性の検証はもとより、経済性・効率性の追及を徹底した。

また、院長のリーダーシップの下、運営委員会（こども病院）や経営五役会議（福岡市民病院）の開催等により、両病院の現場の実態に即した効率的・効果的な経営を行った。

このほか事務部門の体制強化を図るため、民間病院の管理職経験者等を採用し、経営企画課や医事課の主要ポストに配置した。

(2) 収支改善

増収については、4月に実施された診療報酬改定を的確に分析し、新規施設基準の取得などの積極的な増収対策に努めた。

こども病院・感染症センターにおいては、ICUを2床増床するなど効率的な手術体制の構築等による診療単価の上昇やDPC係数の増などによって増収を図った。

福岡市民病院においては、高度救急医療等の展開や難易度の高い手術症例の増加等によって入院診療単価の上昇に繋げ、また新規入院患者数、救急搬送件数及び手術件数等の増加によって増収を図った。

一方、費用削減については、両病院ともに外部コンサルタントを活用した診療材料等の調達に係る価格交渉の徹底や委託契約の見直しによる複数年契約の導入、ジェネリック医薬品の使用拡大などに取り組んだ。

この結果、両病院ともに、平成23年度に引き続き経営に関する目標値を達成した。

(3) 人事・給与

医師を対象とした人事評価制度の試行の効果等を検証し、評価項目や評価点数配分を見直すなどの改善を行ったうえで、試行期間を1年延長した。

また、職員のモチベーションの向上を図るため、職員表彰制度を新たに導入し、12月に職員表彰式を行った。

【医業収益】

(単位：千円)

区 分	平成23年度実績	平成24年度実績 ()は予算上の目標値	比較増減 ()は実績－目標値
こども病院・感染症センター	6,196,043	6,110,225 (6,033,104)	▲85,818 (77,121)
福岡市民病院	4,881,845	5,039,305 (4,858,137)	157,460 (181,168)
法人全体	11,077,888	11,149,530 (10,891,241)	71,642 (258,289)

【営業費用】

(単位：千円)

区 分	平成23年度実績	平成24年度実績 ()は予算上の目標値	比較増減 ()は実績－目標値
こども病院・感染症センター	※ 6,669,432	※ 6,506,993 (6,927,140)	▲162,439 (▲420,147)
福岡市民病院	4,849,158	5,033,600 (5,244,197)	184,442 (▲210,597)
法人全体	11,518,590	11,540,593 (12,171,337)	22,003 (▲630,744)

※ こども病院については、解体する現病院の建物に係る残存価格を新病院開院までの4年間に圧縮して償却する必要があるため、営業費用に圧縮後の減価償却費722,261千円を加えて計上している。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

財務内容の改善を図るため、法人の経営幹部（理事長、副理事長、本部事務局長、病院事務局長）で構成する「経営会議」を毎月開催し、月次の経営管理諸表を作成して、随時、経営状況の検証を行いながら、課題に応じた適切な改善策を講じるなどの経営管理を徹底した。

また、両病院においても、診療科長等情報連絡協議会（こども病院）や所属長会議（福岡市民病院）等を開催して、年度計画を踏まえた各部署の課題や取り組み方針等について情報の共有化を図るとともに、各診療科への院長ヒアリング等を実施するなど、目標達成状況の把握・管理を徹底した。

これらの経営管理を行いながら効率的・効果的な経営に努めた結果、両病院とも平成23年度に引き続き経常黒字を達成した。

【経常収支比率】

（単位：％）

区 分	平成23年度実績	平成24年度実績 （ ）は24年度目標値	比較増減 （ ）は実績－目標値
こども病院・感染症センター	110.9	112.2 (104.6)	1.3 (7.6)
福岡市民病院	115.4	114.5 (109.5)	▲0.9 (5.0)
法人全体	112.8	113.2 (107.0)	0.4 (6.2)

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

(1) 新病院に向けた取組

新病院整備等事業については、平成23年度に引き続き、設計に関する協議・検討を進め、平成24年6月に基本設計図書を確定し、10月には免震構造の大臣認定、12月に建築確認を終えた。10月から準備工事に着手し、12月15日には病院本体工事に着工した。また、平成25年2月には、新病院の開設許可を得るなど、平成26年11月の開院に向けて事業を推進した。

また、PFI対象外である運營業務については、開院後の運営方法等に関して、院内において部門別に運営検討会を開催し、検討を進めた。医療機器・医療情報システムの調達に関して、院内の各部門の要望を基に、新病院準備委員会において優先度の検討・決定を行い、仕様書・調達方法などの検討を進めた。医療関連業務委託に関して、各事業者に対するアンケート調査（市場調査）の結果を基に、それぞれの業務について、委託化の可能性の検討を進めた。

この他、患児家族滞在施設（ふくおかハウス）について、建設に向け関係機関等との協議を進めた。

(2) 福岡市民病院の経営改善の推進

福岡市病院事業運営審議会の答申及び市の中期目標を踏まえ、中期計画に基づく経営の効率化や健全化に取り組み、平成24年度の医業収支比率は、病院開設以来初の黒字化を達成した平成23年度（100.7%）と並ぶ100.1%と2年連続の黒字を達成するなど、経営改善は順調に進んでいる。

この結果、運営費負担金についても独法化前である平成21年度と比較して大幅に改善することができた。

平成24年度の具体的な経営改善の取り組みとしては、地域医療支援病院としての役割を踏まえ、研修会の開催や実習生の受入などにより地域医療機関との更なる連携の強化を図るとともに、高度救急医療体制の整備、診療科の新設や質の高い医療の提供に努めた。

また、患者サービスの向上を図るため、外来部門に引き続き入院部門においても臓器別センター化を導入し、患者から見た分かりやすい診療体制を構築するとともに、各診療科の連携によるチーム医療を推進した。

院長を中心に徹底した経営管理を行いながら、病院一丸となって、経営の効率化を図った。

【医業収支比較】

(単位：百万円)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
医業収益 a	3,998	4,526	4,881	5,039
営業費用 b	4,439	4,687	4,849	5,034
差引 (a-b)	▲441	▲161	32	5
医業収支比率 (a/b)	90.1%	96.6%	100.7%	100.1%

【主な目標値の達成状況】

区 分		こども病院・感染症センター			福岡市民病院		
		24年度 目標値	24年度 実績値	達成率	24年度 目標値	24年度 実績値	達成率
患者 動 向	病床利用率 (%)	81.6	74.5	91.3%	95.0	92.3	97.2%
	1日当たり入院患者数 (人)	155.0	141.6	91.4%	190.0	184.5	97.1%
	平均在院日数 (日)	9.9	10.2	97.1%	12.5	12.1	103.3%
	新規入院患者数 (人)	5,190	4,599	88.6%	4,200	4,527	107.8%
	1人1日当たり入院単価 (円)	97,945	100,689	102.8%	56,500	59,485	105.3%
	1日当たり外来患者数 (人)	292.0	269.6	92.3%	300.0	248.9	83.0%
	1人1日当たり外来単価 (円)	10,818	13,350	123.4%	14,000	15,746	112.5%
医 業 活 動	手術件数 (件)	2,200	2,155	98.0%	2,500	2,742	109.7%
	救急搬送件数 (件)	720	630	87.5%	2,200	2,429	110.4%
	紹介率 (%)	91.0	86.3	94.8%	80.0	82.9	103.6%
	逆紹介率 (%)	25.0	25.8	103.2%	80.0	81.2	101.5%
	服薬指導件数 (件)	3,200	3,351	104.7%	8,500	9,384	110.4%
	栄養食事指導件数 (件)	270	305	113.0%	1,000	1,065	106.5%
	クリニカルパス適用率 (%)	75.0	75.6	100.8%	33.8	39.9	118.0%
患 者 満 足	退院時アンケート結果 (こども病院)	4.5点	4.4点	97.8%	—	—	
	患者満足度調査 (福岡市民病院)	—	—		80.0	70.2	87.8%
経 営 収 支	材料費対医業収益比率 (%)	19.5	18.2	107.2%	25.9	23.8	108.9%
	薬品費対医業収益比率 (%)	6.3	6.6	95.8%	9.9	9.1	108.7%
	診療材料費対医業収益比率 (%)	12.6	11.3	111.1%	15.9	14.6	108.9%
	委託料対医業収益比率 (%)	7.7	7.3	105.1%	9.2	7.4	124.6%
	ジェネリック医薬品導入率 (%)	8.0	6.8	85.0%	24.0	25.1	104.6%
	給与費対医業収益比率 (%)	59.1	56.0	105.6%	55.9	56.2	99.5%
	総収支比率 (%)	104.3	110.8	106.2%	109.0	114.0	104.6%
	経常収支比率 (%)	104.6	112.2	107.2%	109.5	114.5	104.6%
	医業収支比率 (%)	85.9	93.9	109.3%	94.8	100.1	105.6%

項目別の状況

<p>中期目標(項目)</p>	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 医療サービス (1) 良質な医療の実践</p>	
	<p>中期計画</p>	<p>年度計画</p>
<p>こども病院・感染症センター及び福岡市民病院が、それぞれに求められる役割に応じて医療需要の変化や新たな医療課題に適切に対応するため、次のとおり診療機能の充実に取り組む。</p> <p>ア こども病院・感染症センター</p> <p>二次救急病院としての受入れ体制の整備・確保や夜間の小児救急電話相談事業の継続等, 小児医療(高度・地域・救急)のさらなる充実に図るとともに、産科を新設し周産期医療に着手する。</p> <p>第一種・第二種感染症指定医療機関としての役割については、代替の医療機関が確保されるまでの間は、国(検疫所等)、県及び市と連携し、その役割を果たす。</p>	<p>こども病院・感染症センター及び福岡市民病院が、それぞれに求められる役割に応じて医療需要の変化や新たな医療課題に適切に対応するため、次のとおり診療機能の充実に取り組む。</p> <p>ア こども病院・感染症センター</p> <p>中期計画に掲げる事業について、実施済みのものも含め、さらなる充実に図るとともに、以下の事業に取り組む。</p> <p>① 休日・夜間の救急診療体制を強化するため、医事部門業務を22時(現在は17時)までに延長するとともに休日の業務を開始する。</p> <p>② 産科については、地域の基幹病院との連携を図りながら地域周産期母子医療センターとしての役割を果たす。</p> <p>③ 高度専門医療のさらなる充実に図るため、効率的な手術体制の構築に努めながら高度な手術に適切に対応する。</p> <p>④ 第一種・第二種感染症指定医療機関としての役割については、一部の病床の移管が認められたが、代替の医療機関が確保されるまでの間は、国(検疫所等)、県及び市と連携し、その役割を継続して果たす。</p>	

中期目標(内容)	<p>市立病院機構は、地域における医療水準の向上を図り、市民の健康の維持及び増進に寄与するため、福岡市における医療施策として求められる高度専門医療、救急医療等を提供すること。</p> <p>ア こども病院・感染症センター</p> <p>小児医療（高度・地域・救急）のさらなる充実を図るとともに、産科を新設し、周産期医療に取り組むこと。</p> <p>第一種・第二種感染症指定医療機関としての役割については、審議会の答申を踏まえ、福岡県へ指定辞退を届け出ているが、代替の医療機関が確保されるまでの間は、その役割を果たすこと。</p>
----------	---

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価			
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど	
<p>ア こども病院・感染症センター</p> <p>○ 医事受付業務を4月から平日は22時まで延長するとともに、土日祝日は8時30分から22時までの事務当直を開始し、休日・夜間の救急診療体制の強化を図った。</p> <p>○ 産科については、先天性心疾患で重症度が高く、こども病院でしか救命の可能性の低い症例を受け入れるなど、地域の基幹病院との連携を図りながら、地域周産期母子医療センターとしての役割を果たした。</p> <p>○ 高度な手術への対応については、重症度の高い先天性心疾患の患者が増加し、ICU（特定集中治療室）やNICU（新生児特定集中治療室）・GCU（新生児治療回復室）における入院が長期化するケースが増加したため、ICUを2床増床し、看護師の配置人数に応じて段階的に運用を開始することで、効率的な手術体制の構築に努めた。</p> <p>○ 第一種・第二種感染症指定医療機関としての役割については、県及び市と連携してその役割を果たした。なお、県との協議の進展により、4月に第二種指定病床の2床、12月に2床の計4床を返上した。</p> <p>○ 流行性感染症の減少等に伴い、全体の入院患者数は目標値を13.4人/日、外来患者数も目標値を22.4人/日それぞれ下回ったが、一般小児病棟の入院患者数に関しては、前年度実績を1.1人/日上回った。</p>	3	3	3	3	<p>目標値を達成していない項目がやや多いものの、休日・夜間における救急診療体制の強化や、ICUの増床による効率的な手術体制の構築に努めるとともに、産科において救命の可能性が低い症例を受け入れ地域周産期母子医療センターとしての役割を果たすなど、年度計画が順調に実施されていることから、「評価3」とする。</p>	

中期計画			年度計画		
【目標値】			【目標値】		
指 標	平成20年度 実績値	平成24年度 目標値	指 標	平成23年度 目標値	平成24年度 目標値
1日当たり入院患者数(人)	151.8	155.0	1日当たり入院患者数(人)	150.0	155.0
平均在院日数(日)	9.9	9.9	平均在院日数(日)	9.9	9.9
1人1日当たり入院単価(円)	79,431	86,697	1人1日当たり入院単価(円)	92,617	97,945
1日当たり外来患者数(人)	289.5	292.0	1日当たり外来患者数(人)	276.0	292.0
1人1日当たり外来単価(円)	10,515	10,455	1人1日当たり外来単価(円)	10,575	10,818
手術件数(件)	2,041	2,100	手術件数(件)	2,100	2,200
救急搬送件数(件)	686	720	救急搬送件数(件)	720	720
【関連指標】			【関連指標】		
指 標	平成20年度 実績値		指 標	平成22年度 実績値	
心臓血管外科手術件数(件)	437		心臓血管外科手術件数(件)	432	
小児外科手術件数(件)	410		小児外科手術件数(件)	436	
整形外科手術件数(件)	353		整形外科手術件数(件)	388	
心臓カテーテル検査件数(件)	562		心臓カテーテル検査件数(件)	538	
新生児科入院患者数(人)	161		新生児科入院患者数(人)	194	
新生児循環器科入院患者数(人)	120		新生児循環器科入院患者数(人)	93	

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価																																															
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																																													
<p>【目標に係る実績値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>平成23年度 実績値</th> <th>平成24年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日当たり入院患者数（人）</td> <td>145.9</td> <td>141.6</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数（日）</td> <td>9.9</td> <td>10.2</td> </tr> <tr> <td>1人1日当たり入院単価（円）</td> <td>100,367</td> <td>100,689</td> </tr> <tr> <td>1日当たり外来患者数（人）</td> <td>276.7</td> <td>269.6</td> </tr> <tr> <td>1人1日当たり外来単価（円）</td> <td>11,966</td> <td>13,350</td> </tr> <tr> <td>手術件数（件）</td> <td>2,212</td> <td>2,155</td> </tr> <tr> <td>救急搬送件数（件）</td> <td>639</td> <td>630</td> </tr> </tbody> </table> <p>【関連指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>平成23年度 実績値</th> <th>平成24年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心臓血管外科手術件数（件）</td> <td>466</td> <td>445</td> </tr> <tr> <td>小児外科手術件数（件）</td> <td>459</td> <td>410</td> </tr> <tr> <td>整形外科手術件数（件）</td> <td>438</td> <td>409</td> </tr> <tr> <td>心臓カテーテル検査件数（件）</td> <td>546</td> <td>571</td> </tr> <tr> <td>新生児科入院患者数（人）</td> <td>149</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>新生児循環器科入院患者数（人）</td> <td>131</td> <td>106</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	1日当たり入院患者数（人）	145.9	141.6	平均在院日数（日）	9.9	10.2	1人1日当たり入院単価（円）	100,367	100,689	1日当たり外来患者数（人）	276.7	269.6	1人1日当たり外来単価（円）	11,966	13,350	手術件数（件）	2,212	2,155	救急搬送件数（件）	639	630	指 標	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	心臓血管外科手術件数（件）	466	445	小児外科手術件数（件）	459	410	整形外科手術件数（件）	438	409	心臓カテーテル検査件数（件）	546	571	新生児科入院患者数（人）	149	95	新生児循環器科入院患者数（人）	131	106					
指 標	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値																																																
1日当たり入院患者数（人）	145.9	141.6																																																
平均在院日数（日）	9.9	10.2																																																
1人1日当たり入院単価（円）	100,367	100,689																																																
1日当たり外来患者数（人）	276.7	269.6																																																
1人1日当たり外来単価（円）	11,966	13,350																																																
手術件数（件）	2,212	2,155																																																
救急搬送件数（件）	639	630																																																
指 標	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値																																																
心臓血管外科手術件数（件）	466	445																																																
小児外科手術件数（件）	459	410																																																
整形外科手術件数（件）	438	409																																																
心臓カテーテル検査件数（件）	546	571																																																
新生児科入院患者数（人）	149	95																																																
新生児循環器科入院患者数（人）	131	106																																																

中期目標(項目)	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 医療サービス (1) 良質な医療の実践</p>
----------	---

中期計画	年度計画
<p>イ 福岡市民病院</p> <p>医療法で定められた医療計画における4疾病(がん, 脳卒中, 急性心筋梗塞及び糖尿病)への対応を中心に高度専門医療の充実に努めるとともに, 地域特性等により患者の多い肝臓, 腎臓, 脊椎等の疾患にも適切に対応する。また, 脳卒中センターの機能強化や循環器系疾患への対応強化などを進め, 高度救急医療のさらなる向上を図る。</p>	<p>イ 福岡市民病院</p> <p>中期計画に掲げる事業について, 実施済みのものも含め, さらなる充実を図るとともに, 以下の事業に取り組む。</p> <p>① 高度専門医療を拡充するため, 平成24年度診療報酬改定における「医療技術の適切な評価」に鑑み, 手術室の機器整備を行い, 難易度の高い胸腔鏡・腹腔鏡下手術を拡大する。</p> <p>② 高度救急医療の提供体制を強化するため, 救急部に新たに救急専門医を配置し, 病床を持った臨床部門として整備する。</p> <p>③ 急性期リハビリテーションの需要増加に対応するため, リハビリテーション部門を拡充・強化する。</p> <p>④ 当院の専門性を生かすとともに, 高度専門医療機器を活用して脳, 心臓や癌等に特化した「専門ドック」を開始する。</p>

中期目標(内容)	<p>市立病院機構は、地域における医療水準の向上を図り、市民の健康の維持及び増進に寄与するため、福岡市における医療施策として求められる高度専門医療、救急医療等を提供すること。</p> <p>イ 福岡市民病院</p> <p>高度専門医療を担う地域の中核病院としての機能を維持しつつ、脳卒中センターの充実や循環器系疾患への対応強化などを進め、高度救急医療のさらなる向上を図ること。</p>
----------	--

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価			
	ウ エ イ ト	評 価	ウ エ イ ト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど	
<p>イ 福岡市民病院</p> <p>○ がんや脳卒中など医療計画における4疾病への対応を中心に高度専門医療を提供しており、特に脳卒中については、SCU(脳卒中ケアユニット)の稼働率がほぼ満床状態(95.3%)にあり、福岡市医師会発行の脳卒中地域連携パスも260件と市内医療機関で最も多い件数となった。</p> <p>○ 高度専門医療の拡充については、腹腔鏡下肝切除術及び腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術の施設基準を取得し、鏡視下手術件数が267件と、前年度に比べ14.1%増加した。</p> <p>○ 高度救急医療の提供体制の更なる充実を図るため、4月から救急部に新たに救急専門医を配置し、看護師の増員を行った。また、3月から診療科として「救急科」を設置した。</p> <p>○ 安全かつ適切な人工呼吸管理を行い、人工呼吸器からの早期離脱を目指すため、チーム医療として多職種で実践する呼吸サポートチーム(RST)を8月から本格稼働させた。</p> <p>○ 急性期におけるリハビリテーションの充実を図るため、4月から言語聴覚士を配置し、特にSCUにおいて、チーム医療のもと早期の経口摂取への介入を行い、嚥下困難患者の回復への取り組みを強化した。</p> <p>○ 健康管理と疾病予防のため、高度専門医療機器を利用して、脳・心臓・肺・肝胆膵・胃・大腸等に特化した検査を行う「専門ドック」を10月から開始した。</p>	3	4	3	4	<p>難易度の高い腹腔鏡下肝切除術等の施設基準取得や、脳卒中地域連携パスの発行件数が市内医療機関で最多となるなど、高度専門医療の充実が図られるとともに、新たに救急専門医を配置するなど、高度救急医療の充実が図られていることから、「評価4」とする。</p>	

中期計画			年度計画		
【目標値】			【目標値】		
指 標	平成20年度 実績値	平成24年度 目標値	指 標	平成23年度 目標値	平成24年度 目標値
1日当たり入院患者数（人）	184.1	190.0	1日当たり入院患者数（人）	187.4	190.0
平均在院日数（日）	15.6	14.0	平均在院日数（日）	14.0	12.5
1人1日当たり入院単価（円）	46,320	56,466	1人1日当たり入院単価（円）	56,447	56,500
1日当たり外来患者数（人）	252.7	300.0	1日当たり外来患者数（人）	250.0	300.0
1人1日当たり外来単価（円）※	15,076	11,481	1人1日当たり外来単価（円）	13,600	14,000
手術件数（件）	1,842	2,000	手術件数（件）	2,300	2,500
救急搬送件数（件）	1,689	2,200	救急搬送件数（件）	2,100	2,200
※ 平成20年11月から院外処方実施					
【関連指標】			【関連指標】		
指 標	平成20年度 実績値		指 標	平成22年度 実績値	
がん退院患者数（人）	837		がん退院患者数（人）	750	
脳卒中退院患者数（人）	230		脳卒中退院患者数（人）	372	
心臓カテーテル検査件数（件）	366		心臓カテーテル検査件数（件）	361	
糖尿病退院患者数（人）	704		糖尿病退院患者数（人）	865	
肝疾患退院患者数（内科）（人）	470		肝疾患退院患者数（内科）（人）	422	
脊椎外科手術件数（件）	276		脊椎外科手術件数（件）	258	

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価																																															
	ウ エ イ ト	評 価	ウ エ イ ト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																																													
<p>【目標に係る実績値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>平成23年度 実績値</th> <th>平成24年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日当たり入院患者数（人）</td> <td>186.0</td> <td>184.5</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数（日）</td> <td>12.6</td> <td>12.1</td> </tr> <tr> <td>1人1日当たり入院単価（円）</td> <td>57,617</td> <td>59,485</td> </tr> <tr> <td>1日当たり外来患者数（人）</td> <td>236.5</td> <td>248.9</td> </tr> <tr> <td>1人1日当たり外来単価（円）</td> <td>15,413</td> <td>15,746</td> </tr> <tr> <td>手術件数（件）</td> <td>2,619</td> <td>2,742</td> </tr> <tr> <td>救急搬送件数（件）</td> <td>2,323</td> <td>2,429</td> </tr> </tbody> </table> <p>【関連指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>平成23年度 実績値</th> <th>平成24年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん退院患者数（人）</td> <td>721</td> <td>810</td> </tr> <tr> <td>脳卒中退院患者数（人）</td> <td>393</td> <td>349</td> </tr> <tr> <td>心臓カテーテル検査件数（件）</td> <td>381</td> <td>359</td> </tr> <tr> <td>糖尿病退院患者数（人）</td> <td>1,091</td> <td>1,369</td> </tr> <tr> <td>肝疾患退院患者数（内科）（人）</td> <td>391</td> <td>361</td> </tr> <tr> <td>脊椎外科手術件数（件）</td> <td>228</td> <td>207</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	1日当たり入院患者数（人）	186.0	184.5	平均在院日数（日）	12.6	12.1	1人1日当たり入院単価（円）	57,617	59,485	1日当たり外来患者数（人）	236.5	248.9	1人1日当たり外来単価（円）	15,413	15,746	手術件数（件）	2,619	2,742	救急搬送件数（件）	2,323	2,429	指 標	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	がん退院患者数（人）	721	810	脳卒中退院患者数（人）	393	349	心臓カテーテル検査件数（件）	381	359	糖尿病退院患者数（人）	1,091	1,369	肝疾患退院患者数（内科）（人）	391	361	脊椎外科手術件数（件）	228	207					
指 標	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値																																																
1日当たり入院患者数（人）	186.0	184.5																																																
平均在院日数（日）	12.6	12.1																																																
1人1日当たり入院単価（円）	57,617	59,485																																																
1日当たり外来患者数（人）	236.5	248.9																																																
1人1日当たり外来単価（円）	15,413	15,746																																																
手術件数（件）	2,619	2,742																																																
救急搬送件数（件）	2,323	2,429																																																
指 標	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値																																																
がん退院患者数（人）	721	810																																																
脳卒中退院患者数（人）	393	349																																																
心臓カテーテル検査件数（件）	381	359																																																
糖尿病退院患者数（人）	1,091	1,369																																																
肝疾患退院患者数（内科）（人）	391	361																																																
脊椎外科手術件数（件）	228	207																																																

中期目標(項目)	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 医療サービス (2) 地域医療への貢献と医療連携の推進</p>
----------	---

中期計画	年度計画																																																		
<p>市立病院として、地域医療に貢献するため、オープンカンファレンスの実施等、地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図り、病病・病診連携を積極的に推進する。</p> <p>こども病院・感染症センターにおいては、開放型病床への登録医拡大やドクターカー導入等、地域医療支援病院としての機能充実を図る。</p>	<p>ア こども病院・感染症センター</p> <p>小児医療の基幹病院として適切に紹介患者を受け入れ、高度専門医療を提供するとともに、症状の安定した患者については積極的に地域の医療機関への逆紹介を推進するなど、地域連携室の業務の強化に努め、地域医療支援病院としての機能充実を図り、病病・病診連携を推進する。</p> <p>また、地域の診療所への広報の充実を図りながら、登録医への情報の提供やオープンカンファレンスの利用促進に取り組む。</p> <p>ドクターカーについては、有効に活用しながら患者搬送を行う。</p>																																																		
<p>【目標値】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">指 標</th> <th colspan="2">こども病院・感染症センター</th> </tr> <tr> <th>平成20年度 実績値</th> <th>平成24年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">紹介率 (%)</td> <td>90.0</td> <td>91.0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">逆紹介率 (%)</td> <td>15.3</td> <td>20.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">オープンカンファレンス</td> <td>回数 (回)</td> <td>28</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>参加者数 (人)</td> <td>278</td> <td>360</td> </tr> <tr> <td colspan="2">開放型病床への登録医数 (人)</td> <td>51</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table>	指 標		こども病院・感染症センター		平成20年度 実績値	平成24年度 目標値	紹介率 (%)		90.0	91.0	逆紹介率 (%)		15.3	20.0	オープンカンファレンス	回数 (回)	28	30	参加者数 (人)	278	360	開放型病床への登録医数 (人)		51	65	<p>【目標値】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">指 標</th> <th colspan="2">こども病院・感染症センター</th> </tr> <tr> <th>平成23年度 目標値</th> <th>平成24年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">紹介率 (%)</td> <td>91.0</td> <td>91.0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">逆紹介率 (%)</td> <td>18.0</td> <td>25.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">オープンカンファレンス</td> <td>回数 (回)</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>参加者数 (人)</td> <td>340</td> <td>360</td> </tr> <tr> <td colspan="2">開放型病床への登録医数 (人)</td> <td>60</td> <td>110</td> </tr> </tbody> </table>	指 標		こども病院・感染症センター		平成23年度 目標値	平成24年度 目標値	紹介率 (%)		91.0	91.0	逆紹介率 (%)		18.0	25.0	オープンカンファレンス	回数 (回)	30	30	参加者数 (人)	340	360	開放型病床への登録医数 (人)		60	110
指 標			こども病院・感染症センター																																																
		平成20年度 実績値	平成24年度 目標値																																																
紹介率 (%)		90.0	91.0																																																
逆紹介率 (%)		15.3	20.0																																																
オープンカンファレンス	回数 (回)	28	30																																																
	参加者数 (人)	278	360																																																
開放型病床への登録医数 (人)		51	65																																																
指 標		こども病院・感染症センター																																																	
		平成23年度 目標値	平成24年度 目標値																																																
紹介率 (%)		91.0	91.0																																																
逆紹介率 (%)		18.0	25.0																																																
オープンカンファレンス	回数 (回)	30	30																																																
	参加者数 (人)	340	360																																																
開放型病床への登録医数 (人)		60	110																																																

中期目標(内容)	市立病院として、地域医療に貢献するため、地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図り、病病・病診連携を積極的に推進すること。
----------	--

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価																							
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど																					
<p>ア こども病院・感染症センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者紹介率は目標値に届かなかったが、前年度の実績は上回り、小児医療の基幹病院として適切に紹介患者を受入れた。一方、症状が安定した患者については、積極的に地域の医療機関への逆紹介を行った結果、逆紹介率は目標値を上回った。 ○ 開放型病床への登録医については、積極的に地域の医療機関への登録案内を行い、拡大を図った。また、外来フロアに開放型登録医療機関紹介の掲示板作成や、情報誌「みらい」に登録医の紹介コラムの掲載を開始するなど、地域医療機関との情報連携強化を図った。 ○ オープンカンファレンスについては、こども病院カンファレンスをはじめ、症例検討会等を定期的で開催するなど参加者数の拡大に取り組み、目標値を大幅に上回った。 ○ ドクターカーについては、年間の患者搬送件数は4件であった。 ○ 福岡県が平成24年1月に開設した福岡アジア医療サポートセンターと連携し、医療通訳ボランティアの派遣により、在日外国人の入院患者や手術等に対応した。 <p>【目標に係る実績値】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標</th> <th colspan="2">こども病院・感染症センター</th> </tr> <tr> <th>平成23年度 実績値</th> <th>平成24年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率 (%)</td> <td>85.3</td> <td>86.3</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率 (%)</td> <td>25.7</td> <td>25.8</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">オープンカンファレンス</td> <td>回数 (回)</td> <td>33</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>参加者数 (人)</td> <td>1,017</td> <td>1,149</td> </tr> <tr> <td>開放型病床への登録医数 (人)</td> <td>111</td> <td>136</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	こども病院・感染症センター		平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	紹介率 (%)	85.3	86.3	逆紹介率 (%)	25.7	25.8	オープンカンファレンス	回数 (回)	33	44	参加者数 (人)	1,017	1,149	開放型病床への登録医数 (人)	111	136	3	3	3	3	開放型病床への登録医の拡大や、定期的なオープンカンファレンスの実施など、地域医療機関との連携強化に積極的に取り組んでおり、年度計画が順調に実施されていることから、「評価3」とする。
指 標		こども病院・感染症センター																								
	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値																								
紹介率 (%)	85.3	86.3																								
逆紹介率 (%)	25.7	25.8																								
オープンカンファレンス	回数 (回)	33	44																							
	参加者数 (人)	1,017	1,149																							
開放型病床への登録医数 (人)	111	136																								

中期目標(項目)	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 医療サービス (2) 地域医療への貢献と医療連携の推進</p>
----------	---

中期計画	年度計画																																										
<p>市立病院として、地域医療に貢献するため、オープンカンファレンスの実施等、地域の医療機関との連携・協力体制の充実に努め、病病・病診連携を積極的に推進する。</p> <p>福岡市民病院においては、地域医療支援病院の指定に向けた取組を推進する。</p>	<p>イ 福岡市民病院</p> <p>地域医療支援病院としての役割を果たすため、病診連携を推進し、開放型病床の登録医数や共同利用率の増加を図り、かかりつけ医の支援体制を強化する。</p> <p>地域連携パスを基調とした病病連携を広く構築し、切れ目のない地域完結型医療の促進を行う。</p>																																										
<p>【目標値】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成20年度 実績値</th> <th>平成24年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率 (%)</td> <td>68.6</td> <td>75.0</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率 (%)</td> <td>41.2</td> <td>60.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">オープンカンファレンス</td> <td>回数 (回)</td> <td>27</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>参加者数 (人)</td> <td>397</td> <td>450</td> </tr> <tr> <td>開放型病床への登録医数 (人)</td> <td>58</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	福岡市民病院		平成20年度 実績値	平成24年度 目標値	紹介率 (%)	68.6	75.0	逆紹介率 (%)	41.2	60.0	オープンカンファレンス	回数 (回)	27	30	参加者数 (人)	397	450	開放型病床への登録医数 (人)	58	100	<p>【目標値】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成23年度 目標値</th> <th>平成24年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率 (%)</td> <td>78.0</td> <td>80.0</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率 (%)</td> <td>55.0</td> <td>80.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">オープンカンファレンス</td> <td>回数 (回)</td> <td>28</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>参加者数 (人)</td> <td>800</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>開放型病床への登録医数 (人)</td> <td>90</td> <td>130</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	福岡市民病院		平成23年度 目標値	平成24年度 目標値	紹介率 (%)	78.0	80.0	逆紹介率 (%)	55.0	80.0	オープンカンファレンス	回数 (回)	28	30	参加者数 (人)	800	800	開放型病床への登録医数 (人)	90	130
指 標		福岡市民病院																																									
	平成20年度 実績値	平成24年度 目標値																																									
紹介率 (%)	68.6	75.0																																									
逆紹介率 (%)	41.2	60.0																																									
オープンカンファレンス	回数 (回)	27	30																																								
	参加者数 (人)	397	450																																								
開放型病床への登録医数 (人)	58	100																																									
指 標	福岡市民病院																																										
	平成23年度 目標値	平成24年度 目標値																																									
紹介率 (%)	78.0	80.0																																									
逆紹介率 (%)	55.0	80.0																																									
オープンカンファレンス	回数 (回)	28	30																																								
	参加者数 (人)	800	800																																								
開放型病床への登録医数 (人)	90	130																																									

中期目標(内容)	市立病院として、地域医療に貢献するため、地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図り、病病・病診連携を積極的に推進すること。
----------	--

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価																							
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																					
<p>イ 福岡市民病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域医療支援病院としての役割を果たすため、地域の医療機関とのより一層の連携強化に努め、紹介率・逆紹介率ともに目標値を上回った。 ○ 開放型病床への登録医については138人に増加し、季刊誌『F C H (Fukuoka City Hospital)』の発行などにより、病診連携を推進した。 ○ オープンカンファレンスについては、主となる福岡東部オープンカンファレンスを4回開催したほか、多岐に亘って勉強会を開催した。 また、地域住民に対しての出前講座(医療講演)にも積極的に取り組み、各勉強会や出前講座への院外からの参加人数も1,057人と目標値を大幅に上回った。 ○ 地域医療連携室において、地域の医療機関との連携強化を進めた結果、転院に関する相談件数は、前年実績4,846件を上回る5,134件に達した。 <p>【目標に係る実績値】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成23年度 実績値</th> <th>平成24年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率 (%)</td> <td>79.9</td> <td>82.9</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率 (%)</td> <td>74.2</td> <td>81.2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">オープンカン ファレンス</td> <td>回数 (回)</td> <td>30</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>参加者数 (人)</td> <td>1,004</td> <td>1,057</td> </tr> <tr> <td>開放型病床への登録医 数 (人)</td> <td>127</td> <td>138</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	福岡市民病院		平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	紹介率 (%)	79.9	82.9	逆紹介率 (%)	74.2	81.2	オープンカン ファレンス	回数 (回)	30	33	参加者数 (人)	1,004	1,057	開放型病床への登録医 数 (人)	127	138	3	3	3	4	<p>地域医療機関との連携強化や、地域住民に対する出前講座などにも積極的に取り組んだ結果、全ての項目で目標値を上回るなど、着実に成果を上げていることから、「評価4」とする。</p>
指 標		福岡市民病院																								
	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値																								
紹介率 (%)	79.9	82.9																								
逆紹介率 (%)	74.2	81.2																								
オープンカン ファレンス	回数 (回)	30	33																							
	参加者数 (人)	1,004	1,057																							
開放型病床への登録医 数 (人)	127	138																								

中期目標(項目)	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 医療サービス (3) 災害時等の対応</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>災害発生時やその他の緊急時で市長の求めがあった場合等において、福岡市地域防災計画、各種疾患の対策行動計画等に基づき、適切に対応する。</p> <p>また、災害発生時等に万全な対応を図ることができるように院内防災マニュアルの整備や防災訓練を行うとともに、必要物品等の確保に努める。</p>	<p>災害発生時やその他の緊急時で市長の求めがあった場合等において、福岡市地域防災計画、各種疾患の対策行動計画等に基づき、適切に対応する。</p> <p>また、災害発生時等に万全な対応を図ることができるように院内防災マニュアルの整備や消防署との連携による消防・防災訓練を行うとともに、備蓄物品等の必要物品等の確保に努める。</p>

中期目標(内容)	災害発生時やその他の緊急時において、福岡市地域防災計画、各種疾患の対策行動計画等に基づき、適切に対応すること。
----------	---

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価		
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど
<p>○ 災害発生時には、福岡市地域防災計画等に基づき、常に適切な対応が行えるよう体制を整備するとともに、予備電源用自家発電設備の定期点検の実施など、災害発生時の対応準備に万全を期した。</p> <p>○ こども病院においては、10月に福岡市防災センターで職員の防災研修を実施し、2月には事務局の防災担当者が福岡市消防学校で行われた、防災担当者研修に参加した。 また、3月には、地震及び火災を想定した全職員による防災訓練を実施した。</p> <p>○ 福岡市民病院においては、院内の防災マニュアルや新型インフルエンザ対応マニュアルなどを随時見直すとともに、消防訓練についても、火災発生に備えた避難誘導訓練や消火器操作訓練などを定期的に年2回実施した。 また、突然の大事故や災害を想定した訓練の成果を競う「第6回福岡メディカルラリー」に参加し、県内福岡地区参加病院9病院中2位の成績を収めた。 さらに、地震等の災害発生時における九州・沖縄各県の自治体病院間の相互応援を円滑に行うため、各県1病院ずつの8病院間で相互応援に関する協定の締結に向け準備を進めた。</p>	1	3	1	3	<p>災害発生時における危機管理体制の整備や、各種防災訓練を実施するなど、年度計画が順調に実施されていることから、「評価3」とする。</p>

中期目標(項目)	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>2 医療の質の向上 (1) 診療体制の強化・充実</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>医療のさらなる高度専門化に対応し、より安全で質の高い医療を安定的・継続的に提供するため、医療安全などのチーム医療体制を充実させるとともに、各病院において次のとおり体制整備や取組みの実施を行い、診療体制の強化・充実を図る。</p> <p>ア こども病院・感染症センター</p> <p>(ア) 産科開設による周産期医療への着手</p> <p>(イ) 看護師の増員による夜間看護体制の充実</p> <p>(ウ) 麻酔科医の増員によるより安全・安定的な手術体制の構築</p> <p>(エ) 放射線技師の増員による当直体制の実施</p>	<p>中期計画に掲げる事業について、実施済みのもも含め、さらなる充実を図るとともに、各病院において以下の事業に取り組む。</p> <p>ア こども病院・感染症センター</p> <p>(ア) 地域周産期母子医療センターとして地域の基幹病院との連携を図りながら周産期医療の充実に努める。</p> <p>(イ) ICU・NICUの看護師を増員し、看護体制の充実を図る。</p> <p>(ウ) 小児感染症科医を増員し、診療体制を強化する。</p>

中期目標(内容)	医療のさらなる高度専門化に対応し、より安全で質の高い医療を安定的・継続的に提供するため、必要に応じて診療科の再編やセンター化を行うとともに、各専門領域の医療スタッフが連携して診療に取り組むチーム医療体制を充実させるなど、診療体制の強化・充実を図ること。
----------	--

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価		
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど
<p>ア こども病院・感染症センター</p> <p>(ア) 周産期医療の充実については、先天性心疾患等で重症度が高く、こども病院でしか救命の可能性の低い症例を受け入れるなど、地域の基幹病院との連携を図りながら、地域周産期母子医療センターとしての役割を果たした。</p> <p>(イ) 安全で質の高い医療を安定的・継続的に提供するため、ICUの看護師を3名、NICUの看護師2名を増員し、看護体制の充実を図った。</p> <p>(ウ) 小児感染症科の医師を1名増員し、診療体制の強化を図った。</p>	2	3	2	3	地域の基幹病院との連携を図りながら地域周産期母子医療センターとしての役割を果たすとともに、医師や看護師の増員を行い診療体制・看護体制の強化・充実を図るなど、年度計画が順調に実施されていることから、「評価3」とする。

中期目標(項目)	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>2 医療の質の向上 (1) 診療体制の強化・充実</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>医療のさらなる高度専門化に対応し、より安全で質の高い医療を安定的・継続的に提供するため、医療安全などのチーム医療体制を充実させるとともに、各病院において次のとおり体制整備や取組みの実施を行い、診療体制の強化・充実を図る。</p> <p>イ 福岡市民病院</p> <p>(ア) 医師の増員による診療体制の強化</p> <p>(イ) 看護師の増員による7対1看護体制の導入</p> <p>(ウ) 脳卒中センターの機能強化(SCUの設置)</p> <p>(エ) がん治療における外来化学療法の実施(在宅治療の導入)</p>	<p>中期計画に掲げる事業について、実施済みのもも含め、さらなる充実を図るとともに、各病院において以下の事業に取り組む。</p> <p>イ 福岡市民病院</p> <p>(ア) 前年度に実施した外来部門での臓器別センター化の機能を充実させるとともに、新たに入院部門の臓器別センター化に取り組み、チーム医療による診療体制の強化を図る。</p> <p>(イ) 救急部病床を6床程度、病棟に設置し、高度救急医療のさらなる充実を図る。</p> <p>(ウ) 腎臓内科医師を新たに配置し、血管外科医師と共に腎センターを立ち上げ、腎疾患患者治療の拡充・強化を図る。</p> <p>(エ) 関節外科の専門医を新たに配置し、整形外科領域を拡充・強化する。</p> <p>(オ) 前年度に設けた資格取得支援制度を活用して養成した認定看護師3名を各看護分野に配置し、専門性の高い看護を提供する。 (救急、がん化学療法、感染管理の各部門への配置)</p> <p>(カ) 脳血管疾患患者の言語機能や嚥下機能の回復を図るため、新たに言語聴覚士を配置して言語訓練等を行い、早期退院に向けた支援を行う。</p> <p>(キ) 呼吸器リハビリテーションを立ち上げ、肺炎等の呼吸器疾患患者へのリハビリテーションを実施する。</p>

中期目標(内容)	医療のさらなる高度専門化に対応し、より安全で質の高い医療を安定的・継続的に提供するため、必要に応じて診療科の再編やセンター化を行うとともに、各専門領域の医療スタッフが連携して診療に取り組むチーム医療体制を充実させるなど、診療体制の強化・充実を図ること。
----------	--

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価		
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>イ 福岡市民病院</p> <p>(ア) 前年度からの外来部門での臓器別センター化に加え、入院部門においてもセンター化を行い、薬剤師や看護師、コメディカルスタッフもチームに加わった専門性の高いチーム医療を実践した。</p> <p>(イ) 年々増加傾向にある救急患者を円滑に受け入れるため、救急病床を6床確保するとともに、救急指導医を1名、救急専門医を1名配置し、3月から診療科としての「救急科」を開設した。</p> <p>(ウ) 腎疾患患者治療の拡充・強化については、4月から腎臓内科医師を配置し、腎疾患患者に対する診療体制の拡充・強化を図った。</p> <p>(エ) 関節外科の専門医を新たに配置し、人工関節置換術の症例に対する診療体制の拡充・強化を図った。</p> <p>(オ) 資格取得支援制度を活用して養成した救急、がん化学療法、感染管理分野の認定看護師3名を各看護部門に配置し、専門性の高い看護を提供した。</p> <p>(カ) 4月から言語聴覚士を配置し、脳血管障害患者の摂食嚥下機能と言語高次脳機能の改善への体制強化を図った。</p> <p>(キ) 安全適切な人工呼吸管理と早期離脱を目的に多職種からなる呼吸サポートチーム(RST)が8月から活動を開始した。</p>	2	4	2	4	<p>入院部門のセンター化による専門性の高いチーム医療を実践するとともに、救急科の開設や、腎臓内科医師などの専門医を新たに配置するなど、人材確保が困難な中において、年度計画を上回って診療体制の強化・充実が図られていることから、「評価4」とする。</p>

中期目標(項目)	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>2 医療の質の向上 (2) 病院スタッフの確保と教育・研修</p>
----------	---

中期計画	年度計画																						
<p>ア 医師 医療水準を向上させるため、処遇や福利厚生 の改善、育児・子育て支援等の働きやすい環境 づくりを行うなど、優れた医師の確保に努める。 また、研修医の受入体制を整えるとともに、専 門医研修施設として教育・研修体制の充実等に 取り組む。</p> <p>イ 看護師 2 交代制や短時間勤務など柔軟で多様な勤務 体系を検討するなど、働きやすい環境づくりを 進め、看護体制の充実に必要な人員の確保に 努める。 また、専門看護師や認定看護師等の資格取得 を奨励・支援する体制を整えるなど、教育・研 修システムを整備する。</p> <p>【関連指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標</th> <th>こども病院・ 感染症センター</th> <th>福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成20年度 実績値</th> <th>平成20年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護実習 受入施設数 (施設)</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td>常勤看護師 離職率 (%)</td> <td style="text-align: center;">5.5</td> <td style="text-align: center;">8.6</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	こども病院・ 感染症センター	福岡市民病院	平成20年度 実績値	平成20年度 実績値	看護実習 受入施設数 (施設)	5	3	常勤看護師 離職率 (%)	5.5	8.6	<p>職種ごとの専門教育・専門研修の実施や病院間 の人事異動等により職員一人ひとりのスキルア ップを図るとともに、職員満足度調査を実施し、 より働きやすい環境づくりを推進する。 また、看護師については、前年度に養成した認 定看護師を各専門分野に配置し、看護レベルの 向上を図るとともに、引き続き計画的に資格取 得者の拡大に取り組むこととし、こども病院・ 感染症センターについては感染管理、福岡市民 病院については集中ケアや皮膚・排泄ケア看護 の部門における認定看護師を養成する。</p> <p>【関連指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標</th> <th>こども病院・ 感染症センター</th> <th>福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成22年度 実績値</th> <th>平成22年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護実習 受入施設数 (施設)</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td>常勤看護師 離職率 (%)</td> <td style="text-align: center;">8.9</td> <td style="text-align: center;">15.4</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	こども病院・ 感染症センター	福岡市民病院	平成22年度 実績値	平成22年度 実績値	看護実習 受入施設数 (施設)	5	3	常勤看護師 離職率 (%)	8.9	15.4
指 標		こども病院・ 感染症センター	福岡市民病院																				
	平成20年度 実績値	平成20年度 実績値																					
看護実習 受入施設数 (施設)	5	3																					
常勤看護師 離職率 (%)	5.5	8.6																					
指 標	こども病院・ 感染症センター	福岡市民病院																					
	平成22年度 実績値	平成22年度 実績値																					
看護実習 受入施設数 (施設)	5	3																					
常勤看護師 離職率 (%)	8.9	15.4																					

中期目標(内容)	ア 医師	医療水準を向上させるため、優れた医師の確保に努めるとともに、教育・研修体制の充実等を図ること。
	イ 看護師	働きやすい環境づくりを進め、看護体制の充実に必要な人員の確保を図ること。 また、専門性向上のための資格取得等を奨励・支援する体制を整えるなど、教育・研修システムを整備すること。
	ウ その他医療技術職	適正な人員配置や部門間の連携強化に取り組むとともに、研修体制を充実させ、専門性や医療技術の向上を図ること。
	エ 事務職	計画的にプロパー職員の採用及び育成を行い、診療報酬改定等の医療環境の変化や患者の動向等を迅速かつ的確に把握・分析し、効果的な経営戦略を企画・立案できる事務部門を構築すること。

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価																					
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど																			
<p>○ 医師の確保については、こども病院において3月に循環器科1名、麻酔科1名を増員したほか、診療機能の充実と新病院開院を踏まえ、平成25年度から人員体制を強化すべく、積極的な採用活動を行った。(4月から6名の増員予定)</p> <p>福岡市民病院においては、高度専門医療の充実を図るため、4月から救急指導医1名、救急専門医1名、腎臓内科医1名、関節外科専門医1名を新たに配置した。</p> <p>○ 認定看護師の育成については、こども病院において感染管理分野で1名が研修を修了した。</p> <p>また、福岡市民病院においては、集中ケア、皮膚・排泄ケア、脳卒中リハビリテーション看護の分野で3名が研修を修了したほか、認定看護管理者制度サードレベル教育課程を1名が修了した。</p> <p>○ 12月に病院機構の全職員を対象とした職員満足度調査を実施し、3月までに結果報告書を取りまとめた。</p> <p>このほか、福岡市民病院においては、働きがい・やりがいのある職場づくりを目指してワークライフバランス推進プロジェクト委員会を立ち上げ厚生労働省の同事業に参画した。(福岡県内5病院のみ)</p>	2	4	2	4	<p>人材確保が困難な中において、医師等の確保が着実に行われるとともに、認定看護師の育成や、医療技術職の専門性向上を図るなど、教育・研修体制の充実が図られていることから、「評価4」とする。</p>																			
<p>【関連指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">こども病院・感染症センター</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成23年度実績値</th> <th>平成24年度実績値</th> <th>平成23年度実績値</th> <th>平成24年度実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護実習受入施設数(施設)</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>常勤看護師離職率(%)</td> <td>7.5</td> <td>12.2</td> <td>8.8</td> <td>8.0</td> </tr> </tbody> </table>	指標	こども病院・感染症センター		福岡市民病院		平成23年度実績値	平成24年度実績値	平成23年度実績値	平成24年度実績値	看護実習受入施設数(施設)	5	6	3	3	常勤看護師離職率(%)	7.5	12.2	8.8	8.0					
指標		こども病院・感染症センター		福岡市民病院																				
	平成23年度実績値	平成24年度実績値	平成23年度実績値	平成24年度実績値																				
看護実習受入施設数(施設)	5	6	3	3																				
常勤看護師離職率(%)	7.5	12.2	8.8	8.0																				

中期計画	年度計画
<p>ウ その他医療技術職 適正な人員配置や部門間の連携強化に取り組むとともに、専門研修への参加機会の拡充、専門性向上のための資格取得等の奨励・支援体制の整備等、教育・研修体制を充実させ、専門性や医療技術の向上を図る。</p> <p>エ 事務職 診療報酬改定等の医療環境の変化や患者の動向等を迅速かつ的確に把握・分析し、効果的な経営戦略を企画・立案できる事務部門を構築するため、専門的知識・経験を有する者等をプロパー職員として計画的に採用するとともに、その育成に取り組む。</p>	

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価		
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>○ 医療技術職については、感染制御認定薬剤師や糖尿病療養指導士、超音波検査士（循環器）等の資格を取得させるなど、専門性及び医療技術の向上を図った。</p> <p>○ 事務職については、こども病院の経営企画課長（兼務・医事課長）に民間病院の管理職経験者を、福岡市民病院の経営企画課と医事課に民間病院経験15年以上の者（係長級）をそれぞれ1名採用し、経営改善に関する体制の強化を図った。 また、両病院及び本部事務局共通の研修会を月1回開催し、事務職員の資質向上を図った。</p>					

中期目標(項目)	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>2 医療の質の向上 (3) 信頼される医療</p>
----------	---

中期計画	年度計画
<p>市民に信頼される良質な医療を提供するため、薬剤師による服薬指導や管理栄養士による栄養食事指導を充実させるとともに、院内感染防止対策の確実な実施や医療事故に関する情報の収集・分析に努め、医療安全対策の徹底を図る。</p> <p>さらに、新たに医療安全管理者及び院内感染管理者を設置し、総合的な医療安全管理体制を強化する。</p> <p>また、クリニカルパスを活用した事前説明の徹底や、患者が自ら受ける医療の内容を理解し、納得のうえで自分に合った治療法を選択できるよう、十分な説明に基づくインフォームド・コンセントの徹底を図るとともに、患者の希望に応じ、セカンド・オピニオンへ適切に対応する。</p> <p>さらに、高度医療を担う病院として、新薬の開発等に貢献し、治療の効果や安全性を高めるため、積極的に新薬の開発治験に参加する。</p> <p>また、財団法人日本医療機能評価機構の病院機能評価を継続受審し、客観的な評価を踏まえて、改善すべき課題を改めて明確化するとともに、改善に向けた具体的な目標を設定し、その達成に向けて病院全体で取り組む。</p>	<p>市民に信頼される良質な医療を提供するため、中期計画に掲げた服薬指導や栄養食事指導、クリニカルパスを活用した事前説明などの内容をさらに充実させるとともに、福岡市民病院については、感染防止対策として、院内感染防止対策チームの設置、感染状況の把握と対策、抗菌薬の適正使用等の更なる取組みを行い、総合的な医療安全管理体制の強化を図る。</p> <p>また、高度医療を担う病院として、新薬の開発等に貢献し、治療の効果や安全性を高めるため、積極的に新薬の開発治験に参加する。</p>

中期目標(内容)	<p>市民に信頼される良質な医療を提供するため、院内感染防止対策を確実に実施するとともに、医療事故に関する情報の収集・分析に努め、医療安全対策の徹底を図ること。</p> <p>また、患者が自ら受ける医療の内容を理解し、納得のうえで自分に合った治療法を選択できるよう、十分な説明に基づくインフォームド・コンセントを徹底すること。</p>
----------	---

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価			
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど	
<p>ア こども病院・感染症センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 服薬指導については、引き続き充実に努めた結果、目標件数を達成するとともに、栄養食事指導についても、管理栄養士と主治医、看護師が連携を図りながら適切に指導を行い、目標件数を達成した。 ○ クリニカルパスについては、新たなパスの作成や評価手法の確立に取り組み、適用率に関する目標値を達成した。 ○ 新薬の開発治験については、小児治験ネットワークへの参加に伴い、平成24年度から治験業務に係る手順や院内の受入れ体制の整備を行うとともに、治験コーディネーター(CRC)の育成を目的として専任の薬剤師を置くなどの体制強化を図り、これまでの製造販売後調査に加え、検証的臨床試験の本格的な治験業務を開始した。 <p>イ 福岡市民病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 服薬指導については、各病棟に薬剤師を常駐して件数増加に取り組み、栄養食事指導については、管理栄養士と医師、看護師の連携強化等により、それぞれ目標件数を達成した。 ○ クリニカルパスについては、新たに糖尿病教育入院、めまい等のパスを策定し、事前説明の充実に努め、目標を達成した。 ○ 院内における感染防止対策を充実させるため、近隣の医療機関を含めた感染対策ネットワークを構築し、病院主催によるカンファレンスを年4回開催した。 また、地域のがん診療に携わる医師を対象とした第1回福岡市民病院緩和ケア研修会を開催した。 ○ 新薬の開発治験への参加については、循環器内科分野の治験1件を10月に終了した。 また、新薬以外の治験については2件実施した。 	2	3	2	4	<p>服薬指導や栄養食事指導の充実に努めるとともに、クリニカルパスについても新たなパスの作成に取り組んだ結果、全ての項目において目標値を上回るなど、着実に成果を上げていることから、「評価4」とする。</p>	

中期計画					年度計画				
【目標値】					【目標値】				
指 標	こども病院・感染症 センター		福岡市民病院		指 標	こども病院・感染症 センター		福岡市民病院	
	平成20年 度実績値	平成24年 度目標値	平成20年 度実績値	平成24年 度目標値		平成23年 度目標値	平成24年 度目標値	平成23年 度目標値	平成24年 度目標値
服薬指導件 数 (件)	322	2,400	2,336	8,000	服薬指導件 数 (件)	1,500	3,200	8,000	8,500
栄養食事指 導件数(件)	39	120	786	1,000	栄養食事指 導件数(件)	220	270	950	1,000
クリニカル パス適用率 (%)	68.8	75.0	20.6	30.0	クリニカル パス適用率 (%)	72.5	75.0	30.0	33.8

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価																										
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																								
<p>【目標に係る実績値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標</th> <th colspan="2">こども病院・感染症 センター</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成23年 度実績値</th> <th>平成24年 度実績値</th> <th>平成23年 度実績値</th> <th>平成24年 度実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>服薬指導件 数（件）</td> <td>3,369</td> <td>3,351</td> <td>8,644</td> <td>9,384</td> </tr> <tr> <td>栄養食事指 導件数（件）</td> <td>278</td> <td>305</td> <td>1,047</td> <td>1,065</td> </tr> <tr> <td>クリニカル パス適用率 （%）</td> <td>73.5</td> <td>75.6</td> <td>34.1</td> <td>39.9</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	こども病院・感染症 センター		福岡市民病院		平成23年 度実績値	平成24年 度実績値	平成23年 度実績値	平成24年 度実績値	服薬指導件 数（件）	3,369	3,351	8,644	9,384	栄養食事指 導件数（件）	278	305	1,047	1,065	クリニカル パス適用率 （%）	73.5	75.6	34.1	39.9					
指 標		こども病院・感染症 センター		福岡市民病院																									
	平成23年 度実績値	平成24年 度実績値	平成23年 度実績値	平成24年 度実績値																									
服薬指導件 数（件）	3,369	3,351	8,644	9,384																									
栄養食事指 導件数（件）	278	305	1,047	1,065																									
クリニカル パス適用率 （%）	73.5	75.6	34.1	39.9																									

中期目標(項目)	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>3 患者サービス (1) 患者サービスの向上</p>
----------	--

中期計画	年度計画												
<p>医師，看護師等の増員による質の高い医療及び充実した看護の提供とあわせ，診療の待ち時間の短縮に取り組むとともに，患者満足度調査を実施することで患者のニーズを的確にとらえ，より柔軟な対応を行うなど患者サービスの向上を図る。</p> <p>また，より快適な療養環境を提供するため，院内環境の整備を進めるとともに，治療効果を上げるための栄養管理の充実とあわせ，患者の嗜好にも配慮した病院給食の提供や保育士による病棟保育の充実（こども病院・感染症センター）に努める。</p> <p>さらに，医療費の支払におけるクレジットカード，電子マネーの導入について検討するなど，患者の利便性の向上に努める。</p>	<p>引き続き，患者満足度調査を実施し，患者のニーズを的確に把握するとともに，診療の待ち時間の短縮などさらなる患者サービスの向上に努める。</p> <p>また，クレジットカードによる医療費の支払を可能とするシステムを導入し，患者の利便性の向上を図る。</p>												
<p>【目標値（こども病院・感染症センター）】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">指 標</th> <th style="text-align: center;">平成20年度 実績値</th> <th style="text-align: center;">平成24年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>退院時アンケートの平均評価点数（点） ※</td> <td style="text-align: center;">4.3</td> <td style="text-align: center;">4.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 全入院患者に対し，入院時にアンケートを配付し，退院時に回収 10項目の視点（職種ごとの接遇状況，病室等の環境，食事内容等）に対し，各5点満点で点数を記入してもらう。</p>	指 標	平成20年度 実績値	平成24年度 目標値	退院時アンケートの平均評価点数（点） ※	4.3	4.5	<p>【目標値（こども病院・感染症センター）】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">指 標</th> <th style="text-align: center;">平成23年度 目標値</th> <th style="text-align: center;">平成24年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>退院時アンケートの平均評価点数（点） ※</td> <td style="text-align: center;">4.4</td> <td style="text-align: center;">4.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 全入院患者に対し，入院時にアンケートを配付し，退院時に回収 10項目の視点（職種ごとの接遇状況，病室等の環境，食事内容等）に対し，各5点満点で点数を記入してもらう。</p>	指 標	平成23年度 目標値	平成24年度 目標値	退院時アンケートの平均評価点数（点） ※	4.4	4.5
指 標	平成20年度 実績値	平成24年度 目標値											
退院時アンケートの平均評価点数（点） ※	4.3	4.5											
指 標	平成23年度 目標値	平成24年度 目標値											
退院時アンケートの平均評価点数（点） ※	4.4	4.5											

中期目標(内容)	<p>患者のニーズを的確にとらえ、より柔軟な対応を行うなど患者サービスの向上を図ること。</p> <p>また、より快適な療養環境を提供するため、院内環境の整備を進めるとともに、患者の利便性の向上を図ること。</p>
----------	---

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価								
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど						
<p>ア こども病院・感染症センター</p> <p>○ 患者満足度調査については、退院時アンケートの平均評価点数は目標値をわずかに下回ったが、接遇・療養環境委員会を毎月開催し、患者のニーズを分析しながら、改善に努めた。</p> <p>また、1月には外来でのサービス向上を図るため、患者待ち時間及び満足度調査を行なった。</p> <p>○ 病院敷地内における禁煙パトロール及び周辺道路まで含めた清掃活動を、8月から毎月2回、管理職以下の職員有志で行い、敷地内禁煙の徹底と周辺道路の環境保全に努めた。</p> <p>○ 患者の利便性向上を目的に、クレジットカードによる医療費の支払を4月から開始した。平成24年度の利用は年間430件、13,000千円余りとなり、窓口支払いに対して約8%の利用率となった。</p> <p>【目標に係る実績値(こども病院・感染症センター)】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">指 標</th> <th style="width: 25%;">平成23年度 実績値</th> <th style="width: 25%;">平成24年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>退院時アンケートの平均評価点数(点) ※</td> <td style="text-align: center;">4.4</td> <td style="text-align: center;">4.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 全入院患者に対し、入院時にアンケートを配付し、退院時に回収 10項目の視点(職種ごとの接遇状況、病室等の環境、食事内容等)に対し、各5点満点で点数を記入してもらう。</p>	指 標	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	退院時アンケートの平均評価点数(点) ※	4.4	4.4	2	3	2	3	<p>クレジットカードによる医療費の支払を開始するとともに、接遇・改善環境委員会において患者のニーズを分析し改善に努めるなど、年度計画が順調に実施されていることから、「評価3」とする。</p>
指 標	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値									
退院時アンケートの平均評価点数(点) ※	4.4	4.4									

中期目標(項目)	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>3 患者サービス (1) 患者サービスの向上</p>
----------	--

中期計画	年度計画												
<p>医師，看護師等の増員による質の高い医療及び充実した看護の提供とあわせ，診療の待ち時間の短縮に取り組むとともに，患者満足度調査を実施することで患者のニーズを的確にとらえ，より柔軟な対応を行うなど患者サービスの向上を図る。</p> <p>また，より快適な療養環境を提供するため，院内環境の整備を進めるとともに，治療効果を上げるための栄養管理の充実とあわせ，患者の嗜好にも配慮した病院給食の提供や保育士による病棟保育の充実（こども病院・感染症センター）に努める。</p> <p>さらに，医療費の支払におけるクレジットカード，電子マネーの導入について検討するなど，患者の利便性の向上に努める。</p>	<p>引き続き，患者満足度調査を実施し，患者のニーズを的確に把握するとともに，診療の待ち時間の短縮などさらなる患者サービスの向上に努める。</p> <p>また，クレジットカードによる医療費の支払を可能とするシステムを導入し，患者の利便性の向上を図る</p>												
<p>【目標値（福岡市民病院）】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">指 標</th> <th style="text-align: center;">平成20年度 実績値</th> <th style="text-align: center;">平成24年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者満足度調査で非常に満足を感じている患者の割合（%） ※</td> <td style="text-align: center;">69.4</td> <td style="text-align: center;">80.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 職員の接遇や勤務態度等を中心に調査を実施 この調査において，非常に満足を感じられた患者の割合を記載</p>	指 標	平成20年度 実績値	平成24年度 目標値	患者満足度調査で非常に満足を感じている患者の割合（%） ※	69.4	80.0	<p>【目標値（福岡市民病院）】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">指 標</th> <th style="text-align: center;">平成23年度 目標値</th> <th style="text-align: center;">平成24年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者満足度調査で非常に満足を感じている患者の割合（%） ※</td> <td style="text-align: center;">75.0</td> <td style="text-align: center;">80.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 職員の接遇や勤務態度等を中心に調査を実施 この調査において，非常に満足を感じられた患者の割合を記載</p>	指 標	平成23年度 目標値	平成24年度 目標値	患者満足度調査で非常に満足を感じている患者の割合（%） ※	75.0	80.0
指 標	平成20年度 実績値	平成24年度 目標値											
患者満足度調査で非常に満足を感じている患者の割合（%） ※	69.4	80.0											
指 標	平成23年度 目標値	平成24年度 目標値											
患者満足度調査で非常に満足を感じている患者の割合（%） ※	75.0	80.0											

中期目標(内容)	<p>患者のニーズを的確にとらえ、より柔軟な対応を行うなど患者サービスの向上を図ること。</p> <p>また、より快適な療養環境を提供するため、院内環境の整備を進めるとともに、患者の利便性の向上を図ること。</p>
----------	---

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価								
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど						
<p>イ 福岡市民病院</p> <p>○ 患者満足度調査では、「非常に満足を感じている」患者の割合が目標値80.0%に対して70.2%であったが、「満足を感じている」の割合20.5%を加えると、全体的な満足度としては90%を超えた。</p> <p>また、2月に実施した入院患者対象の療養環境、診療内容等の項目を追加した新患者満足度調査では、平均評価点数が87.7点と高い評価を得た。</p> <p>○ 地域医療連携室において、転院や在宅支援などの多岐にわたる患者相談に積極的に対応した結果、相談件数は前年度を上回る10,927件となった。</p> <p>○ 栄養管理の一環として、食事に関する情報を積極的に提供するため、栄養管理室による「栄養ニュース」を毎月1回発行した。</p> <p>○ 院内職員および患者・家族に対する感染対策指導、啓発活動に積極的に取り組むため、多職種で構成されるICT(感染制御チーム)による「ICTニュース」を毎月1回発行した。</p> <p>○ 患者サービス向上の一環として、「CS委員会だより」を年6回発行し、患者の意見に対しての回答や催事のお知らせ等、各種情報を提供した。</p> <p>○ クレジットカードによる医療費の支払については、平成24年度の利用は年間2,869件、84,479千円余となり、窓口支払いに対して約18.1%の利用率となった。</p> <p>【目標に係る実績値(福岡市民病院)】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">指 標</th> <th style="width: 20%;">平成23年度 実績値</th> <th style="width: 20%;">平成24年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者満足度調査で非常に満足を感じている患者の割合(%) ※</td> <td style="text-align: center;">76.0</td> <td style="text-align: center;">70.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 職員の接遇や勤務態度等を中心に調査を実施 この調査において、非常に満足を感じられた患者の割合を記載</p>	指 標	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	患者満足度調査で非常に満足を感じている患者の割合(%) ※	76.0	70.2	2	3	2	3	<p>目標値は達成できていないものの、クレジットカードによる医療費の支払を開始するなど、患者のニーズを踏まえたサービス向上に努めており、年度計画が順調に実施されていることから、「評価3」とする。</p> <p>なお、患者満足度調査における「非常に満足を感じている患者の割合」が目標値及び前年度実績値を大きく下回っていることについては、その原因の分析及び改善に努められたい。</p>
指 標	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値									
患者満足度調査で非常に満足を感じている患者の割合(%) ※	76.0	70.2									

中期目標(項目)	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>3 患者サービス (2) ボランティアとの共働</p>
----------	---

中期計画	年度計画																				
<p>植栽等の構内環境の整備や院内コンサートの実施等，ボランティアとの連携を図り，市民・患者の視点に立ったサービス向上に取り組む。</p>	<p>ア こども病院・感染症センター</p> <p>職員とボランティアが共働して互いに連携をとりながら，市民・患者の目線に立ったサービスの向上を図るため，より細やかな取組に努める。</p> <p>ボランティアの協力を得て，親子ともども入院生活が過ごしやすくなるよう療養環境の向上を図る。</p>																				
<p>【関連指標（こども病院・感染症センター）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">指 標</th> <th style="text-align: center;">平成20年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>植栽・院内飾り付け等ボランティア登録数（団体）</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td>お話会・工作教室等のボランティア登録数（団体）</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td>プレイコーナーこども見守りボランティア登録数（人）</td> <td style="text-align: center;">23</td> </tr> <tr> <td>院内コンサート等開催数（回）</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	平成20年度 実績値	植栽・院内飾り付け等ボランティア登録数（団体）	4	お話会・工作教室等のボランティア登録数（団体）	4	プレイコーナーこども見守りボランティア登録数（人）	23	院内コンサート等開催数（回）	7	<p>【関連指標（こども病院・感染症センター）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">指 標</th> <th style="text-align: center;">平成22年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>植栽・院内飾り付け等ボランティア登録数（団体）</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td>お話会・工作教室等のボランティア登録数（団体）</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td>プレイコーナーこども見守りボランティア登録数（人）</td> <td style="text-align: center;">23</td> </tr> <tr> <td>院内コンサート等開催数（回）</td> <td style="text-align: center;">12</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	平成22年度 実績値	植栽・院内飾り付け等ボランティア登録数（団体）	4	お話会・工作教室等のボランティア登録数（団体）	5	プレイコーナーこども見守りボランティア登録数（人）	23	院内コンサート等開催数（回）	12
指 標	平成20年度 実績値																				
植栽・院内飾り付け等ボランティア登録数（団体）	4																				
お話会・工作教室等のボランティア登録数（団体）	4																				
プレイコーナーこども見守りボランティア登録数（人）	23																				
院内コンサート等開催数（回）	7																				
指 標	平成22年度 実績値																				
植栽・院内飾り付け等ボランティア登録数（団体）	4																				
お話会・工作教室等のボランティア登録数（団体）	5																				
プレイコーナーこども見守りボランティア登録数（人）	23																				
院内コンサート等開催数（回）	12																				

中期目標(内容)	ボランティアとの連携を図り，市民・患者の視点に立ったサービス向上のための取組みを進めること。
----------	--

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価		
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど
<p>ア こども病院・感染症センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各種ミニコンサート，サンタクロースなどの病棟慰問など，ボランティアの受入を積極的に行なった。 ○ 病院職員によるフラワーボランティアチームの活動を継続して行い，病院構内の植栽への散水を協働して行なうなど，ボランティアとのより一層の連携強化を図った。 ○ ロンドンオリンピックの際，ボランティアの仲介により，入院中の子ども達が贈った応援メッセージへのお礼として，日本代表選手団の水泳チームの選手全員のサインが入ったシャツや記念皿，バッジが贈呈されるなど，交流が行われた。 	1	3	1	3	<p>各種ミニコンサートの実施や，入院中の子ども達とロンドンオリンピック日本代表選手団との交流など，ボランティアとの連携によるサービス向上が図られており，年度計画が順調に実施されていることから，「評価3」とする。</p>
【関連指標（こども病院・感染症センター）】					
指 標	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値			
植栽・院内飾り付け等ボランティア登録数（団体）	5	5			
お話会・工作教室等のボランティア登録数（団体）	4	4			
プレイコーナーこども見守りボランティア登録数（人）	26	23			
院内コンサート等開催数（回）	10	16			

中期目標(項目)	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>3 患者サービス (2) ボランティアとの共働</p>
----------	---

中期計画	年度計画																
<p>植栽等の構内環境の整備や院内コンサートの実施等、ボランティアとの連携を図り、市民・患者の視点に立ったサービス向上に取り組む。</p> <p>【関連指標（福岡市民病院）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">指 標</th> <th style="text-align: center;">平成20年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>植栽ボランティア登録数（団体）</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>患者との対話ボランティア登録数（人）</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>院内コンサート開催数（回）</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	平成20年度 実績値	植栽ボランティア登録数（団体）	1	患者との対話ボランティア登録数（人）	1	院内コンサート開催数（回）	3	<p>イ 福岡市民病院</p> <p>植栽等の構内環境の整備や院内コンサートの実施回数の拡大など、ボランティアとの連携を図りながら、市民・患者の視点に立ったサービス向上に取り組む。</p> <p>【関連指標（福岡市民病院）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">指 標</th> <th style="text-align: center;">平成22年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>植栽ボランティア登録数（団体）</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>患者との対話ボランティア登録数（人）</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>院内コンサート開催数（回）</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	平成22年度 実績値	植栽ボランティア登録数（団体）	1	患者との対話ボランティア登録数（人）	1	院内コンサート開催数（回）	7
指 標	平成20年度 実績値																
植栽ボランティア登録数（団体）	1																
患者との対話ボランティア登録数（人）	1																
院内コンサート開催数（回）	3																
指 標	平成22年度 実績値																
植栽ボランティア登録数（団体）	1																
患者との対話ボランティア登録数（人）	1																
院内コンサート開催数（回）	7																

中期目標(内容)	ボランティアとの連携を図り、市民・患者の視点に立ったサービス向上のための取組みを進めること。
----------	--

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価														
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど												
<p>イ 福岡市民病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域や福岡大学のコーラスグループ等の協力により、院内コンサート等を5回開催した。また、九州大学マジックサークルの協力のもと、マジックショーを開催し好評を得た。 ○ 院内ボランティアについては、9月から1名増の2名となり、外来での患者のお世話や入院患者の話し相手など、患者とのふれあいを大切に活動を行っていただき、より一層きめ細やかな患者サービスが提供できた。 ○ 花の植え替え等花壇の手入れを行っていただき、院内の美化に努めた。 <p>【関連指標（福岡市民病院）】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">指 標</th> <th style="width: 20%;">平成23年度実績値</th> <th style="width: 20%;">平成24年度実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>植栽ボランティア登録数(団体)</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>患者との対話ボランティア登録数(人)</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>院内コンサート開催数(回)</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	平成23年度実績値	平成24年度実績値	植栽ボランティア登録数(団体)	1	1	患者との対話ボランティア登録数(人)	1	2	院内コンサート開催数(回)	4	5	1	3	1	3	<p>地域や大学のコーラスグループ等の協力により院内コンサートを開催するなど、ボランティアとの連携によるサービス向上が図られており、年度計画が順調に実施されていることから、「評価3」とする。</p>
指 標	平成23年度実績値	平成24年度実績値															
植栽ボランティア登録数(団体)	1	1															
患者との対話ボランティア登録数(人)	1	2															
院内コンサート開催数(回)	4	5															

中期目標(項目)	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>4 法令遵守と情報公開</p>
----------	---

中期計画	年度計画
<p>市立病院としての使命を適切に果たすため、医療法をはじめとする関係法令を遵守するとともに、内部規程の策定、倫理委員会によるチェック等を通じ、役職員の行動規範と倫理を確立する。</p> <p>個人情報保護及び情報公開に関しては、福岡市個人情報保護条例（平成17年福岡市条例第103号）及び福岡市情報公開条例（平成14年福岡市条例第3号）に基づき、適切に対応する。</p> <p>また、法人の経営状況、専門医療に関する情報、各病院の役割及び医療内容、地域の医療機関との連携等について、ホームページや講演会等を通じ、情報発信に取り組む。</p>	<p>市立病院としての使命を適切に果たすため、医療法をはじめとする関係法令や内部規程の遵守を徹底するとともに、監事監査及び内部監査室による監査を実施し、内部統制の充実を図る。</p> <p>また、法人の経営状況、専門医療に関する情報、各病院の役割及び医療内容、地域の医療機関との連携等について、ホームページへの掲載や情報誌の発行、講演会の開催等を通じて積極的に情報発信に取り組む。</p>

中期目標 (内容)	<p>市立病院としての使命を適切に果たすため、医療法をはじめとする関係法令を遵守することはもとより、行動規範と倫理を確立し、適正な病院運営を行うこと。</p> <p>個人情報保護及び情報公開に関しては、福岡市個人情報保護条例（平成17年福岡市条例第103号）及び福岡市情報公開条例（平成14年福岡市条例第3号）に基づき、適切に対応すること。</p> <p>また、専門医療に関する情報、各病院の役割及び医療内容、地域の医療機関との連携等についても、ホームページ等を活用し、情報を発信すること。</p>
--------------	---

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価		
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>○ 法人全体の業務の適正及び効率性の検証を行うため、監事（弁護士、公認会計士）による業務監査及び会計監査の実施に加え、外部の監査法人と連携して業務管理や会計処理、情報管理等に関する監査を実施するなど、内部統制の充実に努めた。</p> <p>○ 個人情報保護及び情報公開については、福岡市の関係条例等及び当法人の情報セキュリティポリシーに基づき適切に対応した。 また、診療録の開示に際しては、関係規程に基づき、診療録開示委員会を開催して開示の可否を決定した。</p> <p>○ 情報発信については、こども病院において、ホームページや情報誌「みらい」等を活用して病院の役割や医療内容等を発信したほか、10月には、こども病院研究基金記念講演会を開催し、過去最多の約260名の市民の参加を得た。 また、ホームページのリニューアルの準備を進め、平成25年4月から公開することとした。</p> <p>○ 福岡市民病院においても、各種統計や院内活動をまとめた年報「アイリス」や診療情報誌「ふれあい」、季刊誌「FCH」等を発行し、病院の役割や医療内容等の情報発信をするとともに、ホームページの随時更新を行い、市民に開かれた病院づくりを行った。</p>	1	3	1	3	<p>監事監査に加え、外部の監査法人と連携した監査を実施するなど、年度計画が順調に実施されていることから、「評価3」とする。</p>

中期目標(項目)	<p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 運営組織</p>
----------	---

中期計画	年度計画
<p>市立病院機構の運営を的確に行うため、理事会及び本部事務局などの組織体制を整備するとともに、市立病院機構内で適切な権限配分を行い、各病院において病院長がリーダーシップを発揮し、効果的・効率的な経営が可能となる運営管理体制を構築する。</p> <p>また、病院経営に関する知識・経験を有する人材の民間等からの採用や、医療の専門知識を有する医療技術職の事務部門への配置等、弾力的な人事管理を行い、必要に応じて医療経営コンサルタント等も活用しながら診療報酬改定等の医療環境の変化や患者の動向等を迅速かつ的確に把握・分析し、効果的な経営戦略を企画・立案できる事務部門を構築する。</p> <p>さらに、看護師等の医療従事者が病院経営により積極的に参画できる仕組みの構築を図る。</p>	<p>市立病院機構の運営を的確に行うため、任期満了に伴う理事会の新体制（更新を含む。）を整えて理事会機能を維持するとともに、両病院及び本部事務局の組織体制の充実を図る。</p> <p>また、病院経営に関する知識・経験を有する人材を民間等から採用するなど、事務部門の体制強化を進め、民間病院の管理職経験者をこども病院・感染症センターの経営企画課長として新たに配置する。</p> <p>福岡市民病院においては、医師事務作業補助者の所属部署として診療支援室を新たに立ち上げ、病院勤務医師の負担軽減に向けてより一層努力する。</p>

中期目標(内容)	市立病院機構の運営を的確に行えるよう、理事会及び本部事務局などの組織体制を整備するとともに、市立病院機構内で適切な権限配分を行い、各病院において病院長がリーダーシップを発揮し、効果的・効率的な経営が可能となる運営管理体制を構築すること。
----------	--

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価		
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<ul style="list-style-type: none"> ○ 市立病院機構の運営を的確に行うため、任期満了に伴う理事会の新体制を整え、平成24年度は理事会を11回開催し、理事会の決定方針に沿った運営を行った。 ○ また、新病院の開院や福岡市民病院の機能強化に向け、看護師・助産師の人材確保や育成が重要な課題となるため、新たに看護部門の担当理事を平成25年度から設置することとした。 ○ 院長のリーダーシップの下、運営委員会(こども病院)や経営五役会議(福岡市民病院)の開催等により、両病院の現場の実態に即した効率的・効果的な経営を行った。 ○ 事務部門については、こども病院の経営企画課長(兼務・医事課長)に民間病院の管理職経験者を、福岡市民病院の経営企画課と医事課に病院経験15年以上の者(係長級)をそれぞれ1名採用し、経営改善に関する体制の強化を図った。 ○ 福岡市民病院においては、年々増加する診断書作成依頼に対応するため、医師事務作業補助者を25対1から20対1へ増員し、勤務医の事務作業の負担軽減を図った。 ○ ベットコントロールについては、こども病院においては各病棟の看護師長が、福岡市民病院においては看護部長が、治療と看護体制の整合性を保ちつつ、空床状況や看護必要度を基に、効率的かつ適正な病床管理を行った。 	2	3	2	3	<p>任期満了に伴う理事会の新体制を整えるとともに、民間病院の管理職経験者などを採用し、経営改善に関する体制の強化を図るなど、年度計画が順調に実施されていることから、「評価3」とする。</p>

中期目標(項目)

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置
2 収支改善 (1) 増収

中期計画

診療体制の充実や病床利用率の向上、高度医療機器の稼働率向上に努め、収入増を図る。
また、診療報酬請求に係るチェック体制を強化し、請求漏れや査定減を防止するとともに、コンビニ収納等の拡大による未収金発生の防止や法的措置も含め、未収金対策の強化に取り組む。
こども病院・感染症センターにおいては、夜間の看護体制を充実させるため、看護師を増員し、小児入院医療管理料1の全病棟適用を行う。

【目標値】

指 標	こども病院・感染症センター	
	平成20年度 実績値	平成24年度 目標値
病床利用率 (%)	79.9	81.6
新規入院患者 (人)	5,113	5,190
平均在院日数 (日) ※	9.9	9.9
1人1日当たり入院単価 (円) ※	79,431	86,697
1日当たり外来患者数 (人) ※	289.5	292.0
1人1日当たり外来単価 (円) ※	10,515	10,455
手術件数 (件) ※	2,041	2,100
救急搬送件数 (件) ※	686	720
診療報酬請求査定減 (%)	0.23	0.20

※ 再掲

年度計画

診療体制の充実や病床利用率の向上、高度医療機器の稼働率向上に努め、収入増を図る。
また、診療報酬請求に係るチェック体制を強化し、請求漏れや査定減を防止するとともに、クレジットカード支払の導入等による未収金発生の防止や法的措置も含めた未収金回収マニュアルの作成等により、未収金対策の強化に取り組む。

〈こども病院・感染症センター〉

- ア 効率的なベッドコントロールを行い、病床利用率の向上を図る。
- イ 診療報酬チェック体制を見直し、医師との連携強化により診療報酬の請求精度を高める。
- ウ 地域周産期母子医療センターの認定に伴うDPC係数の増による増収を図る。
- エ 効率的な手術体制の構築等により、手術料収入の増収を図る。

【目標値】

指 標	こども病院・感染症センター	
	平成23年度 目標値	平成24年度 目標値
病床利用率 (%)	78.9	81.6
新規入院患者 (人)	5,170	5,190
平均在院日数 (日) ※	9.9	9.9
1人1日当たり入院単価 (円) ※	92,617	97,945
1日当たり外来患者数 (人) ※	276.0	292.0
1人1日当たり外来単価 (円) ※	10,575	10,818
手術件数 (件) ※	2,100	2,200
救急搬送件数 (件) ※	720	720
診療報酬請求査定減 (%)	0.20	0.20

※ 再掲

中期目標(内容)	診療体制の充実、病床利用率の向上や高度医療機器の稼働率向上を図り、増収を目指すこと。 また、診療報酬の請求漏れや査定減の防止、未収金発生の防止や確実な回収に努めること。
----------	---

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価																																		
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																																
<p>ア こども病院・感染症センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 医業収益については、流行性感染症患者の減少等の理由で病床利用率が低下したことなどにより、前年度実績を下回ったが、目標値を7,700万円上回る61億1,000万円を確保した。 ○ 診療報酬チェックについては、レセプト点検システムを導入し、正確性の強化と効率性の向上に努めた。 ○ 地域周産期母子医療センターの認定に伴うDPC係数の増により、年間100万円余の増収が図られた。 ○ ICUやNICU・GCUにおける入院が長期化し、新規手術症例の受け入れが滞ったことから、ICUを2床増床し、効率的な手術体制の構築に努めた。 ○ 未収金対策の強化については、4月からクレジットカード利用を開始したほか、少額訴訟を含めた必要な対策を講じた。 <p>【目標に係る実績値】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標</th> <th colspan="2">こども病院・感染症センター</th> </tr> <tr> <th>平成23年度 実績値</th> <th>平成24年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床利用率 (%)</td> <td style="text-align: center;">76.8</td> <td style="text-align: center;">74.5</td> </tr> <tr> <td>新規入院患者 (人)</td> <td style="text-align: center;">4,899</td> <td style="text-align: center;">4,599</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数 (日) ※</td> <td style="text-align: center;">9.9</td> <td style="text-align: center;">10.2</td> </tr> <tr> <td>1人1日当たり 入院単価(円) ※</td> <td style="text-align: center;">100,367</td> <td style="text-align: center;">100,689</td> </tr> <tr> <td>1日当たり外来 患者数(人) ※</td> <td style="text-align: center;">276.7</td> <td style="text-align: center;">269.6</td> </tr> <tr> <td>1人1日当たり 外来単価(円) ※</td> <td style="text-align: center;">11,966</td> <td style="text-align: center;">13,350</td> </tr> <tr> <td>手術件数 (件) ※</td> <td style="text-align: center;">2,212</td> <td style="text-align: center;">2,155</td> </tr> <tr> <td>救急搬送件数 (件) ※</td> <td style="text-align: center;">639</td> <td style="text-align: center;">630</td> </tr> <tr> <td>診療報酬請求 査定減(%)</td> <td style="text-align: center;">0.40</td> <td style="text-align: center;">0.28</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 再掲</p>	指 標	こども病院・感染症センター		平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	病床利用率 (%)	76.8	74.5	新規入院患者 (人)	4,899	4,599	平均在院日数 (日) ※	9.9	10.2	1人1日当たり 入院単価(円) ※	100,367	100,689	1日当たり外来 患者数(人) ※	276.7	269.6	1人1日当たり 外来単価(円) ※	11,966	13,350	手術件数 (件) ※	2,212	2,155	救急搬送件数 (件) ※	639	630	診療報酬請求 査定減(%)	0.40	0.28	3	3	3	3	<p>病床利用率や新規入院患者数などが目標値を下回っているものの、入院診療単価及び外来診療単価の上昇などにより、予算を上回る医業収益を確保するなど、年度計画が順調に実施されていることから、「評価3」とする。</p> <p>なお、病床利用率や、新規入院患者数など、前年度実績及び目標値を下回っている項目については、その原因を詳細に分析し、対策を講じるべきである。</p>
指 標		こども病院・感染症センター																																			
	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値																																			
病床利用率 (%)	76.8	74.5																																			
新規入院患者 (人)	4,899	4,599																																			
平均在院日数 (日) ※	9.9	10.2																																			
1人1日当たり 入院単価(円) ※	100,367	100,689																																			
1日当たり外来 患者数(人) ※	276.7	269.6																																			
1人1日当たり 外来単価(円) ※	11,966	13,350																																			
手術件数 (件) ※	2,212	2,155																																			
救急搬送件数 (件) ※	639	630																																			
診療報酬請求 査定減(%)	0.40	0.28																																			

中期目標(項目)	<p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>2 収支改善 (1) 増収</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>診療体制の充実や病床利用率の向上，高度医療機器の稼働率向上に努め，収入増を図る。</p> <p>また，診療報酬請求に係るチェック体制を強化し，請求漏れや査定減を防止するとともに，コンビニ収納等の拡大による未収金発生の防止や法的措置も含め，未収金対策の強化に取り組む。</p> <p>福岡市民病院においては，看護師を増員し，7：1看護体制を導入するとともに，SCUの設置など診療体制を充実し，高度救急医療体制の拡充を図る。</p>	<p>〈福岡市民病院〉</p> <p>ア 救急医療のさらなる充実を目指して，夜間休日救急搬送医学管理料の新規加算を取得する。</p> <p>イ 新たに腎臓内科医師を配置し，腎疾患患者に対する診療を充実する。</p> <p>ウ 関節外科の専門医を新たに配置し，整形外科の診療領域を拡大させて患者数の増加を目指す。</p> <p>エ 難易度や専門性の高い手術料の引き上げに伴い，手術室の機器を整備し，高度な手術の件数の増加を図る。</p> <p>オ 認定看護師の配置や医師事務作業補助者の増員等により，各種診療報酬加算を取得する。</p> <p>カ 医師や看護師の負担軽減及び医療安全の向上を図るため，病棟薬剤業務実施加算を取得する。</p> <p>キ 看護師の負担軽減を図るため，看護補助者を増員して急性期看護補助体制加算の上位基準を取得する。</p>

中期目標(内容)	診療体制の充実，病床利用率の向上や高度医療機器の稼働率向上を図り，増収を目指すこと。 また，診療報酬の請求漏れや査定減の防止，未収金発生の防止や確実な回収に努めること。
----------	---

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価		
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど
イ 福岡市民病院 ○ 医業収益については，平成 23 年度の実績 48 億 8,100 万円余を約 1 億 6 千万円上回り，目標値も大幅に上回る 50 億 3,900 万円を達成した。 【主な増収要因】 ・紹介患者，新規入院患者数の増加 ・救急搬送件数，手術件数の増加 ・入院単価の上昇 ○ 夜間休日救急搬送医学管理料については，4 月から施設基準を取得し 700 件(月平均 58 件)を算定した。 ○ 腎疾患患者に対する診療の充実については，4 月から腎臓内科医師を配置し，延べ透析入院患者数が 298 名と，前年度に比べ 26.3%増加した。 ○ 関節外科の専門医を新たに配置し，人工関節置換術の症例数が 54 件(平成 23 年度 8 件)と大幅に増加した。 ○ 高度専門医療の拡充については，4 月に腹腔鏡下肝切除術，6 月に腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術の施設基準を取得し，鏡視下手術件数が 267 件と，前年に比べ 14.1%増加した。 ○ 認定看護師 3 名(救急，がん化学療法，感染管理)を各看護分野に配置し，専門性の高い看護を提供した。 ○ 医師事務作業補助体制加算を 5 月より 25 対 1 より 20 対 1 へ上位基準を取得し，勤務医の負担を軽減する体制の推進を図った。 ○ 看護職員夜間配置加算 12 対 1 及び急性期看護補助体制加算 25 対 1 を導入し，診療報酬算定上の増収に繋げた。 ○ 未収金対策の強化については，4 月からクレジットカードの利用を開始したほか，少額訴訟を含めた必要な対策を講じた。 ○ レセプトチェックシステムの新規導入により，診療報酬の適正な請求及び査定減防止を図った。	3	4	3	4	新規入院患者数，手術件数，救急搬送件数の増加及び入院診療単価の上昇などにより，医業収益において，前年度及び目標値を上回る増収を達成したことから，「評価 4」とする。 なお，院長をはじめ，各医師等の一丸となった取組みにより，医業収益が大きく伸びていることについて，高く評価する。

中期計画			年度計画		
【目標値】			【目標値】		
指 標	福岡市民病院		指 標	福岡市民病院	
	平成20年度 実績値	平成24年度 目標値		平成23年度 目標値	平成24年度 目標値
病床利用率 (%)	92.0	95.0	病床利用率 (%)	93.7	95.0
新規入院患者 (人)	3,804	4,200	新規入院患者 (人)	4,100	4,200
平均在院日数 (日) ※	15.6	14.0	平均在院日数 (日) ※	14.0	12.5
1人1日当たり 入院単価 (円) ※	46,320	56,466	1人1日当たり 入院単価 (円) ※	56,447	56,500
1日当たり外来 患者数 (人) ※	252.7	300.0	1日当たり外来 患者数 (人) ※	250.0	300.0
1人1日当たり 外来単価 (円) ※	15,076	11,481	1人1日当たり 外来単価 (円) ※	13,600	14,000
手術件数 (件) ※	1,842	2,000	手術件数 (件) ※	2,300	2,500
救急搬送件数 (件) ※	1,689	2,200	救急搬送件数 (件) ※	2,100	2,200
診療報酬請求 査定減 (%)	0.12	0.09	診療報酬請求 査定減 (%)	0.10	0.09
※ 再掲			※ 再掲		

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価																																		
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																																
<p>【目標に係る実績値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成23年度 実績値</th> <th>平成24年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床利用率 (%)</td> <td>93.0</td> <td>92.3</td> </tr> <tr> <td>新規入院患者 (人)</td> <td>4,386</td> <td>4,527</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数 (日) ※</td> <td>12.6</td> <td>12.1</td> </tr> <tr> <td>1人1日当たり 入院単価 (円) ※</td> <td>57,617</td> <td>59,485</td> </tr> <tr> <td>1日当たり外来 患者数 (人) ※</td> <td>236.5</td> <td>248.9</td> </tr> <tr> <td>1人1日当たり 外来単価 (円) ※</td> <td>15,413</td> <td>15,746</td> </tr> <tr> <td>手術件数 (件) ※</td> <td>2,619</td> <td>2,742</td> </tr> <tr> <td>救急搬送件数 (件) ※</td> <td>2,323</td> <td>2,429</td> </tr> <tr> <td>診療報酬請求 査定減 (%)</td> <td>0.19</td> <td>0.23</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 再掲</p>	指 標	福岡市民病院		平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	病床利用率 (%)	93.0	92.3	新規入院患者 (人)	4,386	4,527	平均在院日数 (日) ※	12.6	12.1	1人1日当たり 入院単価 (円) ※	57,617	59,485	1日当たり外来 患者数 (人) ※	236.5	248.9	1人1日当たり 外来単価 (円) ※	15,413	15,746	手術件数 (件) ※	2,619	2,742	救急搬送件数 (件) ※	2,323	2,429	診療報酬請求 査定減 (%)	0.19	0.23					
指 標		福岡市民病院																																			
	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値																																			
病床利用率 (%)	93.0	92.3																																			
新規入院患者 (人)	4,386	4,527																																			
平均在院日数 (日) ※	12.6	12.1																																			
1人1日当たり 入院単価 (円) ※	57,617	59,485																																			
1日当たり外来 患者数 (人) ※	236.5	248.9																																			
1人1日当たり 外来単価 (円) ※	15,413	15,746																																			
手術件数 (件) ※	2,619	2,742																																			
救急搬送件数 (件) ※	2,323	2,429																																			
診療報酬請求 査定減 (%)	0.19	0.23																																			

中期目標(項目)	<p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>2 収支改善 (2) 費用削減</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>予算科目及び年度間で弾力的に運用できる会計制度を活用した予算執行を行い、効果的・効率的な事業運営に取り組む。</p> <p>また、診療材料等の調達に係る価格交渉の徹底や契約手法及び委託業務の見直し、ジェネリック医薬品の使用拡大等を行い、費用の削減を図る。</p> <p>さらに、計画的な維持修理による施設の長寿命化と投資の平準化、施設運営・保守管理の効率化、既存施設の有効活用などのアセットマネジメントを推進する。</p>	<p>予算科目及び年度間で弾力的に運用できる会計制度を活用した予算執行を行い、効果的・効率的な事業運営に取り組む。</p> <p>また、診療材料等の調達に係る価格交渉の徹底や契約手法及び委託業務の見直し、ジェネリック医薬品の使用拡大等を行い、費用の削減を図る。</p> <p>さらに、こども病院・感染症センターについては、給食業務を委託化し、品質を維持したうえで費用の削減を図る。</p>

中期目標(内容)	<p>予算科目及び年度間で弾力的に運用できる会計制度を活用した予算執行を行うことにより、効果的・効率的な事業運営に努めること。</p> <p>また、価格交渉の徹底や多様な契約手法の活用、委託業務の見直し等を行い、費用の削減を図ること。</p> <p>さらに、計画的な維持修理による施設の長寿命化と投資の平準化、施設運営・保守管理の効率化、既存施設の有効活用などのアセットマネジメントを推進すること。</p>
----------	---

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価		
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>人事管理や給与支給事務など両病院に共通する業務については、本部事務局において集約して執行するなど、法人全体でより効率的な事業運営に努めるとともに、両病院においても、以下のとおり徹底した費用削減に取り組んだ。</p> <p>ア こども病院・感染症センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 診療材料等の調達については、外部コンサルタントを活用しながら価格交渉を行い、診療材料費対医業収益比率の目標を達成した。 ○ 施設総合管理業務や医療材料の物品管理業務の委託については、複数年契約に条件を変更し、経費削減を図った。 ○ 給食業務については、4月から品質を維持したうえで委託化を行い、人件費等の経費削減を図った。 ○ 年間を通じた節電対策に取り組み、電気使用量を前年度比で4%節減した。 <p>イ 福岡市民病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 診療材料等の調達については、外部コンサルタントを活用した価格交渉を行い薬品費、診療材料費ともに対医業収益比率の目標を達成した。 ○ ジェネリック医薬品の使用拡大については、新たに22品目の切り替えを行い、目標を達成した。 ○ 委託費については、複数年契約の導入や委託業務内容の見直し等により削減に努め、目標を達成した。 ○ 計画的な維持修理による施設の長寿命化や投資の標準化及び保守管理の効率化を図った。 	3	4	3	4	<p>職員の増員などによる費用増加の要素はあるものの、多様な契約手法の導入などによる徹底した費用削減が図られたことにより、予算に対して約6億3千万円の費用削減を達成していることから、「評価4」とする。</p> <p>なお、今後は人件費などの費用削減について、より一層の努力を期待する。</p>

中期計画					年度計画				
【目標値】					【目標値】				
(単位：%)					(単位：%)				
指 標	こども病院・ 感染症センター		福岡市民病院		指 標	こども病院・ 感染症センター		福岡市民病院	
	平成20年 度実績値	平成24年 度目標値	平成20年 度実績値	平成24年 度目標値		平成23年 度目標値	平成24年 度目標値	平成23年 度目標値	平成24年 度目標値
材料費対 医業収益 比率	20.1	20.8	32.3	25.9	材料費対 医業収益 比率	19.9	19.5	25.9	25.9
うち薬 品費対 医業収益 比率	6.9	6.4	14.9	9.9	うち薬 品費対 医業収益 比率	6.1	6.3	9.9	9.9
うち診 療材料 費対医 業収益 比率	12.5	13.7	16.2	15.9	うち診 療材料 費対医 業収益 比率	13.1	12.6	15.8	15.9
委託費対 医業収益 比率	8.4	7.7	10.4	11.1	委託費対 医業収益 比率	8.0	7.7	11.1	9.2
ジェネリ ック医薬 品導入率	4.7	8.0	14.6	24.0	ジェネリ ック医薬 品導入率	7.0	8.0	21.0	24.0

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価																																				
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																																		
<p>【目標に係る実績値】</p> <p style="text-align: right;">（単位：％）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標</th> <th colspan="2">こども病院・ 感染症センター</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成23年 度実績値</th> <th>平成24年 度実績値</th> <th>平成23年 度実績値</th> <th>平成24年 度実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>材料費対 医業収益 比率</td> <td>18.6</td> <td>18.2</td> <td>25.4</td> <td>23.8</td> </tr> <tr> <td>うち薬 品費対 医業収 益比率</td> <td>6.6</td> <td>6.6</td> <td>9.0</td> <td>9.1</td> </tr> <tr> <td>うち診 療材料 費対医 業収益 比率</td> <td>11.5</td> <td>11.3</td> <td>16.3</td> <td>14.6</td> </tr> <tr> <td>委託費対 医業収益 比率</td> <td>6.1</td> <td>7.3</td> <td>7.4</td> <td>7.4</td> </tr> <tr> <td>ジェネリ ック医薬 品導入率</td> <td>6.8</td> <td>6.8</td> <td>22.8</td> <td>25.1</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	こども病院・ 感染症センター		福岡市民病院		平成23年 度実績値	平成24年 度実績値	平成23年 度実績値	平成24年 度実績値	材料費対 医業収益 比率	18.6	18.2	25.4	23.8	うち薬 品費対 医業収 益比率	6.6	6.6	9.0	9.1	うち診 療材料 費対医 業収益 比率	11.5	11.3	16.3	14.6	委託費対 医業収益 比率	6.1	7.3	7.4	7.4	ジェネリ ック医薬 品導入率	6.8	6.8	22.8	25.1					
指 標		こども病院・ 感染症センター		福岡市民病院																																			
	平成23年 度実績値	平成24年 度実績値	平成23年 度実績値	平成24年 度実績値																																			
材料費対 医業収益 比率	18.6	18.2	25.4	23.8																																			
うち薬 品費対 医業収 益比率	6.6	6.6	9.0	9.1																																			
うち診 療材料 費対医 業収益 比率	11.5	11.3	16.3	14.6																																			
委託費対 医業収益 比率	6.1	7.3	7.4	7.4																																			
ジェネリ ック医薬 品導入率	6.8	6.8	22.8	25.1																																			

中期目標(項目)	<p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>3 人事・給与</p>
----------	--

中期計画	年度計画																																								
<p>職員の意欲を引き出す人事制度を構築するとともに、職員の業績や能力、貢献度が公平に客観的に評価され、処遇面等に活かされる人事評価システムの導入を図る。</p> <p>また、病院の業績や職員の職務・職責等に応じた給与制度を導入し、職員のモチベーションの維持・向上及び人件費の適正化を図る。</p> <p>有期職員については、より効率的・効果的な勤務体制の検討を行う。</p> <p>【目標値】</p> <p style="text-align: right;">(単位：%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標</th> <th colspan="2">こども病院・感染症センター</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成20年度 実績値</th> <th>平成24年度 目標値</th> <th>平成20年度 実績値</th> <th>平成24年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">病院職員の給与費対医業収益比率</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">56.2</td> <td style="text-align: center;">60.0</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">53.9</td> <td style="text-align: center;">55.9</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(退職給付費用を除く。)</td> <td style="text-align: center;">(退職給付費用を除く。)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">57.2</td> <td style="text-align: center;">53.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成20年度の給与費は、退職手当を含まない。</p>	指 標	こども病院・感染症センター		福岡市民病院		平成20年度 実績値	平成24年度 目標値	平成20年度 実績値	平成24年度 目標値	病院職員の給与費対医業収益比率	56.2	60.0	53.9	55.9	(退職給付費用を除く。)	(退職給付費用を除く。)	57.2	53.3	<p>職員の業績や能力等を客観的な基準で評価し、その結果を給与に反映させることにより、職員のモチベーションの維持・向上等を図るため、前年度から医師を対象とした人事評価制度を試行しており、その効果等を検証しながら、本格実施に向けた検討を進める。</p> <p>【目標値】</p> <p style="text-align: right;">(単位：%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標</th> <th colspan="2">こども病院・感染症センター</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成23年度 目標値</th> <th>平成24年度 目標値</th> <th>平成23年度 目標値</th> <th>平成24年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">病院職員の給与費対医業収益比率</td> <td style="text-align: center;">62.0</td> <td style="text-align: center;">59.1</td> <td style="text-align: center;">56.9</td> <td style="text-align: center;">55.9</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(退職給付費用を除く。)</td> <td style="text-align: center;">(退職給付費用を除く。)</td> <td style="text-align: center;">(退職給付費用を除く。)</td> <td style="text-align: center;">(退職給付費用を除く。)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">59.3</td> <td style="text-align: center;">56.0</td> <td style="text-align: center;">54.4</td> <td style="text-align: center;">53.3</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	こども病院・感染症センター		福岡市民病院		平成23年度 目標値	平成24年度 目標値	平成23年度 目標値	平成24年度 目標値	病院職員の給与費対医業収益比率	62.0	59.1	56.9	55.9	(退職給付費用を除く。)	(退職給付費用を除く。)	(退職給付費用を除く。)	(退職給付費用を除く。)	59.3	56.0	54.4	53.3
指 標		こども病院・感染症センター		福岡市民病院																																					
	平成20年度 実績値	平成24年度 目標値	平成20年度 実績値	平成24年度 目標値																																					
病院職員の給与費対医業収益比率	56.2	60.0	53.9	55.9																																					
		(退職給付費用を除く。)		(退職給付費用を除く。)																																					
		57.2		53.3																																					
指 標	こども病院・感染症センター		福岡市民病院																																						
	平成23年度 目標値	平成24年度 目標値	平成23年度 目標値	平成24年度 目標値																																					
病院職員の給与費対医業収益比率	62.0	59.1	56.9	55.9																																					
	(退職給付費用を除く。)	(退職給付費用を除く。)	(退職給付費用を除く。)	(退職給付費用を除く。)																																					
	59.3	56.0	54.4	53.3																																					

中期目標(内容)	<p>職員の意欲を引き出す人事制度を構築し、職員の業績や能力を的確に評価するための公正かつ客観的な人事評価システムの導入に努めること。</p> <p>また、病院の業績等に応じた給与制度を導入し、職員のモチベーションの維持・向上及び人件費の適正化を図ること。</p>
----------	--

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価																					
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																			
<p>○ 医師を対象とした人事評価制度については、試行の効果等を検証し、評価項目や点数配分の見直しなどの改善を行ったうえで、試行を1年延長することとした。</p> <p>○ 職員の給与については、業務の実績を考慮し、かつ社会一般の情勢に適合したものとなるよう所要の改定等を行った。</p> <p>○ 職員のモチベーション向上のため、職員表彰制度を新たに導入し、12月に4件の表彰を行った。</p>	2	3	2	3	職員のモチベーション向上のため職員表彰制度を導入するなど、年度計画が順調に実施されていることから、「評価3」とする。																			
<p>【目標に係る実績値】</p> <p style="text-align: right;">(単位：%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標</th> <th colspan="2">こども病院・ 感染症センター</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成23年度 実績値</th> <th>平成24年度 実績値</th> <th>平成23年度 実績値</th> <th>平成24年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院職員 の給与費 対医業収 益比率</td> <td>56.0 (退職給 付費用を 除く。)</td> <td>56.0 (退職給 付費用を 除く。)</td> <td>53.9 (退職給 付費用を 除く。)</td> <td>56.2 (退職給 付費用を 除く。)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>53.2</td> <td>53.3</td> <td>51.6</td> <td>54.4</td> </tr> </tbody> </table>						指 標	こども病院・ 感染症センター		福岡市民病院		平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	病院職員 の給与費 対医業収 益比率	56.0 (退職給 付費用を 除く。)	56.0 (退職給 付費用を 除く。)	53.9 (退職給 付費用を 除く。)	56.2 (退職給 付費用を 除く。)		53.2	53.3	51.6	54.4
指 標	こども病院・ 感染症センター		福岡市民病院																					
	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値																				
病院職員 の給与費 対医業収 益比率	56.0 (退職給 付費用を 除く。)	56.0 (退職給 付費用を 除く。)	53.9 (退職給 付費用を 除く。)	56.2 (退職給 付費用を 除く。)																				
	53.2	53.3	51.6	54.4																				

中期目標(項目)	<p>第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>経営基盤の確立</p>
----------	---

中期計画	年度計画
<p>市からの指示に基づき提供する医療のうち、効率的な経営を行ってもなお不採算となる部門の経費については、運営費負担金として市からの経費負担があるが、それ以外の事業経費については、法人の事業経営に伴う収入をもって充てなければならない。したがって、この運営費負担金繰入後の経常黒字が達成できる経営基盤を確立するため、経営改善のために取り組むべき課題を明確にし、増収及び費用削減や中・長期的視点に立ったコスト管理に取り組むとともに、月次決算の実施など経営に関する情報を迅速に把握し、部門ごとの経営状況の分析や他病院との比較分析を行うなど、効率的な病院経営を行う。</p> <p>また、部門ごとに具体的な目標を設定し、その達成状況を適宜確認するなど経営管理を徹底する。</p>	<p>市からの運営費負担金繰入後の経常黒字の達成を継続させるため、平成24年度に実施される診療報酬改定を的確に分析し、スピード感を持って戦略的に経営改善に取り組むなど、効率的・効果的な病院経営を行う。</p>

中期目標(内容)	<p>市立病院の使命を果たすため、福岡市からの必要な経費負担後の経常黒字が達成できる経営基盤を確立すること。</p> <p>そのため、経営に関する情報を迅速に把握し、部門ごとの経営状況の分析や他病院との比較分析を行うなど、経営改善のために取り組むべき課題を明確にし、効率的な病院経営に努めること。</p> <p>また、部門ごとに具体的な目標を設定し、その達成状況を適宜確認するなど経営管理を徹底すること。</p>
----------	--

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価		
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど
<p>○ 毎月、法人の経営幹部(理事長、副理事長、本部事務局長、病院事務局長)で構成する「経営会議」を開催し、月次の経営管理諸表により、随時、経営状況を検証するとともに、四半期ごとに課題を分析のうえ、適切な改善策を講じるなどの経営管理を徹底し、効率的な病院経営を行った。</p> <p>○ 両病院において、診療報酬の改定を踏まえた新規施設基準の取得などの積極的な増収対策や費用削減に取り組んだ結果、平成23年度に引き続き、市からの運営費負担金繰入後の経常黒字を達成した。</p> <p>ア こども病院・感染症センター</p> <p>○ 年度目標の達成に向け、院内での運営委員会や診療科長等情報連絡協議会において情報の共有を図り、経営情報の迅速な把握に努めるとともに、年度計画を基に各部門ごとに具体的な目標を設定し、達成度を評価するなど経営管理を徹底した。</p> <p>○ DPC分析ソフトの導入により、診療報酬改定等による増減収の分析、適切なDPCコーディングの検証、他のこども病院とのベンチマーク分析等を実施し、戦略的な経営改善に努めた。</p> <p>イ 福岡市民病院</p> <p>○ 毎月の所属長会議において、効率的な経営を行うために、病院全体及び部門ごとのモニタリング資料を提示し、情報を共有することにより病院全体で経営基盤の確立に努めた。</p> <p>また、診療科毎に院長ヒアリングを年2回実施し、診療内容や経営に関する具体的な目標設定と達成状況の確認を行い、経営管理を徹底させた。</p> <p>○ DPC適正運用委員会においては、経営改善のために取り組むべき喫緊の課題を明確にし、具体的な目標を設定のうえ、その達成状況を適宜確認した。</p>	2	3	2	4	<p>法人本部における「経営会議」において、随時、経営状況を検証するとともに、各病院においても、部門毎に診療内容や経営に関する具体的な目標設定と達成状況を確認するなど、経営管理を徹底することにより、経営に係る全ての項目で目標値を大きく上回る成果をあげていることから、「評価4」とする。</p>

中期計画					年度計画				
【目標値】 (単位：%)					【目標値】 (単位：%)				
指 標	こども病院・ 感染症センター		福岡市民病院		指 標	こども病院・ 感染症センター		福岡市民病院	
	平成20年度 実績値	平成24年度 目標値	平成20年度 実績値	平成24年度 目標値		平成23年度 目標値	平成24年度 目標値	平成23年度 目標値	平成24年度 目標値
総収支比率	100.8	101.7	100.3	107.4	総収支比率	100.8	104.3	107.2	109.0
経常収支比率	100.8	102.0	100.7	107.8	経常収支比率	101.0	104.6	107.6	109.5
医業収支比率	96.1	83.7	90.1	93.2	医業収支比率	82.9	85.9	92.2	94.8
※ こども病院の医業収支比率は、新病院開院を控え、建物の減価償却費が増加することにより下落している。					※ こども病院の医業収支比率は、新病院開院を控え、建物の減価償却費が増加することにより下落している。				

評価の判断理由 (実施状況等)	自己評価		委員会の評価																										
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																								
<p>【目標に係る実績値】</p> <p style="text-align: right;">(単位：%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標</th> <th colspan="2">こども病院・ 感染症センター</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成23年度 実績値</th> <th>平成24年度 実績値</th> <th>平成23年度 実績値</th> <th>平成24年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総収支比率</td> <td>110.3</td> <td>110.8</td> <td>114.9</td> <td>114.0</td> </tr> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>110.9</td> <td>112.2</td> <td>115.4</td> <td>114.5</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率</td> <td>92.9</td> <td>93.9</td> <td>100.7</td> <td>100.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ こども病院の医業収支比率は、新病院開院を控え、建物の減価償却費が増加することにより下落している。</p>	指 標	こども病院・ 感染症センター		福岡市民病院		平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	総収支比率	110.3	110.8	114.9	114.0	経常収支比率	110.9	112.2	115.4	114.5	医業収支比率	92.9	93.9	100.7	100.1					
指 標		こども病院・ 感染症センター		福岡市民病院																									
	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値																									
総収支比率	110.3	110.8	114.9	114.0																									
経常収支比率	110.9	112.2	115.4	114.5																									
医業収支比率	92.9	93.9	100.7	100.1																									

中期目標(項目)	<p>第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置</p> <p>1 新病院に向けた取組み</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>こども病院・感染症センターについては、PFI手法により整備を行う新病院整備等事業を承継し、平成26年3月の開院を目指して確実に事業を推進する。</p> <p>また、新病院における診療部門の連携を図るための周産期センター化や循環器センター化に向けて検討を進めるとともに、新病院の機能拡充に伴う職員の増員に対応するため、開院に向けて医療従事者を計画的に採用するなど、必要な準備を行う。</p> <p>なお、新病院の整備にあたっては、平成20年9月の福岡市議会における「新病院の整備に関する決議」の趣旨に配慮する。</p>	<p>新病院整備等事業については、事業の再開にあたって、平成26年11月の開院を目指して、事業を推進することとしている。</p> <p>平成24年度は、前年度に引き続き、諸室設計等の検討を進め、設計が完了する平成24年11月頃を目途に工事に着手するとともに、開院時の運営方法等について、運用フローの策定や業務委託の活用等の検討を進めるなど、着実な事業の推進に取り組んでいく。</p>

中期目標 (内容)	<p>こども病院・感染症センターについては、PFI手法により整備を行う新病院整備等事業を承継し、平成26年3月の開院を目指して確実に事業を進めていくこと。</p> <p>また、新病院の機能拡充に伴う職員の増員に対応するため、開院に向けて医療従事者を計画的に採用するなど、必要な準備を行うこと。</p> <p>なお、今後の新病院の整備にあたっては、平成20年9月の福岡市議会における「新病院の整備に関する決議」の趣旨を踏まえること。</p>
--------------	---

評価の判断理由 (実施状況等)	自己評価		委員会の評価			
	ウ エ イ ト	評 価	ウ エ イ ト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど	
<p>○ 新病院整備等事業については、平成26年11月の開院を目指して、以下のスケジュールにより着実に事業を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月：基本設計図書の確定 ・ 10月：免震構造の大臣認定 準備工事に着手 ・ 12月：建築確認 病院本体工事着工 ・ 2月：新病院の開設許可 <p>○ PFI対象外である運營業務については、以下のとおり検討を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開院後の運営方法等に関して、院内において部門別に運営検討会を継続的に開催している。 ・ 医療機器・医療情報システムの調達に関して、院内の各部門の要望を基に、新病院準備委員会において優先度の検討・決定を行い、仕様書・調達方法などを検討した。 ・ 医療関連業務委託に関して、各事業者に対するアンケート調査（市場調査）の結果を基に、それぞれの業務について、委託化の可能性などを検討した。 <p>○ 患児家族滞在施設（ふくおかハウス）については、建設に向け関係機関等との協議を進めた。</p>	2	3	2	3	<p>平成26年11月の開院に向け、本体工事に着工するとともに、運營業務について部門別に検討会を行うなど、着実に事業の進捗が図られていることから、「評価3」とする。</p> <p>なお、市民の期待に沿えるよう、一日でも早い開院に向け努力していただきたい。</p>	

中期目標(項目)	<p>第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置</p> <p>2 福岡市民病院の経営改善の推進</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>福岡市民病院については、福岡市病院事業運営審議会から「市民病院は、東区、博多区、糟屋地区における中核的な病院として機能していること及び市の医療政策の総合的な推進の観点、さらに、経営改善の進捗も期待できることから、当面は現在の施設を活用して存続させることが適当である」と考える。この場合、経営の効率化や健全化に向けた取組みに、従来以上の努力を行っていくことが前提となる。なお、繰入金が増大するなど経営改善の達成状況が不十分な場合や、施設老朽化の時期においては、医療環境や財政状況など諸条件を踏まえて、市民病院のあり方について、再度検討する必要があると考えられる。」との答申がなされていることを踏まえ、この中期計画による経営改善の取組みを着実に進め、質の高い医療の提供及び患者サービスの向上に努めるとともに、経営の効率化を図る。</p>	<p>引き続き、この計画による経営改善の取組を着実に進め、質の高い医療の提供及び患者サービスの向上に努めるとともに、経営の効率化を図る。</p>

中期目標(内容)	<p>福岡市民病院については、審議会から「市民病院は、東区、博多区、糟屋地区における中核的な病院として機能していること及び市の医療政策の総合的な推進の観点、さらに、経営改善の進捗も期待できることから、当面は現在の施設を活用して存続させることが適当であると考えます。この場合、経営の効率化や健全化に向けた取組みに、従来以上の努力を行っていくことが前提となる。なお、繰入金が増大するなど経営改善の達成状況が不十分な場合や、施設老朽化の時期においては、医療環境や財政状況など諸条件を踏まえて、市民病院のあり方について、再度検討する必要があると考えられる。」との答申がなされている。</p> <p>このことを踏まえ、福岡市民病院については、着実に経営改善を進め、従来以上に経営の効率化を図ること。</p>
----------	--

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価																						
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																				
<p>○ 経営改善の取組を着実に進めた結果、24年度の医業収支比率は100.1%と2年連続の黒字を達成することができた。</p> <p>また、運営費負担金についても独法化前と比較して大幅に改善することができた。</p> <p>○ 地域医療支援病院として地域の中核的役割を果たすため、研修会の開催や実習生の受入などにより地域医療機関との連携強化に努めた。</p> <p>○ 救急医療の強化のため、救急指導医1名、救急専門医1名及び救急医1名を配置するなど、高度救急医療体制の充実に努めた結果、救急搬送件数は平成23年度を上回る2,429件に達した。</p> <p>○ これらの取り組みにより、新規入院患者数は平成23年度4,386人から平成24年度4,527人に増加し、また、高度専門医療の拡充により、診療単価は入院59,485円(平成23年度57,617円) 外来15,746円(平成23年度15,413円)と上昇した。</p> <p>○ 経費削減に関しては、外部コンサルタントとの協働により、医薬品・診療材料の適正価格での購入を徹底した。その結果、材料費対医業収益比率は23.8%と前年度から1%以上改善することが出来た。</p> <p>【医業収支比較】 (単位：百万円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">区分</th> <th style="width: 15%;">平成23年度</th> <th style="width: 15%;">平成24年度</th> <th style="width: 15%;">比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医業収益 a</td> <td>4,881</td> <td>5,039</td> <td>158</td> </tr> <tr> <td>営業費用 b</td> <td>4,849</td> <td>5,034</td> <td>185</td> </tr> <tr> <td>差引 (a - b)</td> <td>32</td> <td>5</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率 (a / b)</td> <td>100.7%</td> <td>100.1%</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成23年度	平成24年度	比較	医業収益 a	4,881	5,039	158	営業費用 b	4,849	5,034	185	差引 (a - b)	32	5	—	医業収支比率 (a / b)	100.7%	100.1%	—	2	4	2	4	<p>高度救急医療・高度専門医療の充実による増収に加え、徹底した費用削減に努めた結果、2期連続となる医業収支比率の黒字を達成するなど、経営改善の取組みが着実に進んでいることから、「評価4」とする。</p>
区分	平成23年度	平成24年度	比較																						
医業収益 a	4,881	5,039	158																						
営業費用 b	4,849	5,034	185																						
差引 (a - b)	32	5	—																						
医業収支比率 (a / b)	100.7%	100.1%	—																						

第5 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画
 ※財務諸表及び決算報告書を参照

第6 短期借入金の限度額

中期計画	年度計画	実績
1 限度額 2,000百万円	1 限度額 2,000百万円	1 最大借入高 104百万円（平成25年3月）
2 想定される短期借入金の発生事由 ア 業績手当（賞与）の支給等による一時的な資金不足への対応 イ 予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等、偶発的な出費への対応	2 想定される短期借入金の発生事由 ア 業績手当（賞与）の支給等による一時的な資金不足への対応 イ 予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等、偶発的な出費への対応	2 短期借入金の発生事由 資金の収支予定を作成し、効率的な資金運用を行っているが、予定額を超えた支出が発生した場合に短期借入れを行ったもの。 ※ 年度末時点においては返済済

第7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

中期計画	年度計画	実績
なし	なし	該当なし

第8 剰余金の使途

中期計画	年度計画	実績
決算において剰余を生じた場合は、病院施設の整備、医療機器の購入、教育・研修体制の充実等に充てる。	決算において剰余を生じた場合は、病院施設の整備、医療機器の購入、教育・研修体制の充実等に充てる。	平成24年度は、決算において剰余を生じたので、平成25年度以降における病院施設の整備、医療機器の購入、教育・研修体制の充実等に充てる予定である。

第9 地方独立行政法人福岡市立病院機構の業務運営等に関する規則で定める業務運営に関する事項

中期計画	年度計画	実績																		
<p>1 施設及び設備に関する計画 (平成22年度から平成24年度まで) (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>予定額</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設, 医療機器等整備</td> <td>2,000</td> <td>福岡市長期借入金等</td> </tr> </tbody> </table>	施設及び設備の内容	予定額	財源	病院施設, 医療機器等整備	2,000	福岡市長期借入金等	<p>1 施設及び設備に関する計画 (平成24年度) (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>予定額</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設, 医療機器等整備</td> <td>748</td> <td>福岡市長期借入金等</td> </tr> </tbody> </table>	施設及び設備の内容	予定額	財源	病院施設, 医療機器等整備	748	福岡市長期借入金等	<p>1 施設及び設備に関する計画 (平成24年度) (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>決定額</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設, 医療機器等整備</td> <td>680</td> <td>福岡市長期借入金等</td> </tr> </tbody> </table>	施設及び設備の内容	決定額	財源	病院施設, 医療機器等整備	680	福岡市長期借入金等
施設及び設備の内容	予定額	財源																		
病院施設, 医療機器等整備	2,000	福岡市長期借入金等																		
施設及び設備の内容	予定額	財源																		
病院施設, 医療機器等整備	748	福岡市長期借入金等																		
施設及び設備の内容	決定額	財源																		
病院施設, 医療機器等整備	680	福岡市長期借入金等																		
<p>2 人事に関する計画</p> <p>職員の業績や能力等が処遇面に活かされる人事評価システムの導入を行い、職員のモチベーションの維持・向上を図る。</p> <p>また、病院経営に精通した事務部門を構築するため、計画的にプロパー職員を採用するとともに、経理事務等を集中して行う事務センター（仮称）等を設置し、効率的な事務処理体制を整える。</p> <p>さらに、有期職員の活用やアウトソーシングの検討を積極的に行い、正規職員の適正な配置、効率的な組織運営体制の構築を図る。</p> <p>また、新病院開院に向けた職員の計画的な採用及び育成に取り組む。</p>	<p>2 人事に関する計画</p> <p>人材育成プラン（仮称）を策定し、職員の業績や能力、特性等を見据えながら両病院及び本部事務局間で積極的に人事交流を行い、職員一人ひとりのスキルアップを図る。</p> <p>また、引き続き計画的なプロパー職員の採用及び有期職員の活用等により、効率的な組織運営体制の構築を図る。</p>	<p>2 人事に関する計画</p> <p>事務職員の一人ひとりのスキルアップ及び法人全体の効率的な組織運営体制の構築を図るため、以下の取り組みを行った。</p> <p>【人事交流の促進等】</p> <p>事務職員の勤務成績を適正に評価するため、勤務成績評価の見直しを行うとともに、法人設立時に採用された職員を中心に積極的な人事交流を行った。</p> <p>【計画的なプロパー化と有期職員の活用】</p> <p>病院経営に精通した事務部門を構築するため、民間病院等において管理職経験のある者や医療事務の経験がある者等を即戦力として採用（こども病院6人、福岡市民病院5人、本部事務局1人）するなど、計画的なプロパー化に取り組んだ。</p> <p>また、有期職員をこども病院に89名、福岡市民病院に122名及び本部事務局に2名配置し、効率的な組織運営を行った。</p> <p>※有期職員の人数は平成24年5月1日現在</p>																		

地方独立行政法人福岡市立病院機構 業務実績評価の方針

平成22年11月10日

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会決定

地方独立行政法人法第28条第1項及び第30条第1項の規定に基づき、地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会（以下「評価委員会」という。）が実施する地方独立行政法人福岡市立病院機構（以下「法人」という。）の業務実績に関する評価（以下「評価」という。）については、以下の方針に基づき行うものとする。

1 基本方針

- (1) 評価は、法人が中期目標を達成するために、業務運営の改善及び効率化が進められること及び法人の質的向上に資することを目的として行うものとする。
- (2) 評価は、年度計画及び中期計画の実施状況を確認及び分析し、法人の業務運営等について総合的に判断して行うものとする。
- (3) 年度計画及び中期計画を実現するために、法人として特色ある取組や様々な工夫を行った場合は積極的に評価することとし、単に実績数値にとらわれないものとする。
- (4) 評価方法については、法人を取り巻く環境変化などを踏まえ、柔軟に対応するとともに、必要に応じて見直しを行うものとする。
- (5) 評価結果を法人に通知する場合は、法人に対し、意見申立ての機会を付与するものとする。

2 評価方法

(1) 法人からの報告書の提出

法人は、各事業年度及び中期目標期間終了後3月以内に、当該期間における業務の実績を明らかにした報告書（以下「業務実績報告書」という。）を評価委員会に提出する。その際、各事業年度の業務実績報告書においては、年度計画に記載されている小項目などについて法人が行った自己評価をあわせて記載する。

(2) 評価の実施

評価委員会は、提出された業務実績報告書をもとに、法人からの意見聴取等を踏まえて業務の実施状況を確認及び分析し、総合的な評価を行う。評価は、各事業年度終了時に実施する「年度評価」と、中期目標期間終了時に実施する「中期目標期間評価」とし、それぞれ「項目別評価」と「全体評価」により行うものとする。

① 年度評価

中期計画及び年度計画に記載されている小項目、大項目及び全体について評価を行う。

評価に当たっては、小項目について病院ごとの実績がわかるように工夫し、病院の自己点検に基づき、法人としての自己評価を行い、これに基づき評価委員会にお

いて確認及び分析し、「項目別評価」（小項目及び大項目）を行い、「項目別評価」の結果を踏まえつつ、中期計画、年度計画の進捗状況全体について総合的に評価を行う。

なお、「年度評価」に係る評価基準等の詳細については、別途実施要領で定めるものとする。

② 中期目標期間評価

各「年度評価」の評価結果も踏まえつつ、中期計画に記載されている大項目及び全体について評価を行う。

評価に当たっては、当該期間における中期目標の達成状況について、当該期間中の「年度評価」の結果を踏まえつつ、評価委員会において確認及び分析し、「項目別評価」（大項目）を行う。さらに、「項目別評価」の結果を踏まえ、当該中期目標期間における業務実績全体について総合的に評価する。

なお、「中期目標期間評価」に係る評価基準等の詳細については、別途実施要領で定めるものとする。

3 評価結果の活用

- (1) 法人は、評価結果や勧告を受けて、法人として取り組む事項を明確にし、改善に取り組むとともに、その状況を評価委員会に報告する。
- (2) 法人の業務継続の必要性及び組織のあり方等に関する検討、次期中期目標の策定及び次期中期計画の作成に関して、評価委員会が意見を述べる際には、中期目標期間の各年度の評価結果を踏まえるものとする。

地方独立行政法人福岡市立病院機構 年度業務実績評価実施要領

平成22年11月10日

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会決定

地方独立行政法人法第28条の規定に基づき、地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会（以下「評価委員会」という。）が地方独立行政法人福岡市立病院機構（以下「法人」という。）の各事業年度に係る業務実績に関する評価（以下「年度評価」という。）を実施するにあたっては、「地方独立行政法人福岡市立病院機構業務実績評価の方針（平成22年11月10日決定）」に基づき、以下の要領により実施する。

1 項目別評価の具体的方法

「項目別評価」は、原則として当該年度の年度計画に定めた小項目ごとに、その実施状況について法人が自己評価を行う。さらに評価委員会においても評価を行った上で、年度計画に掲げる「第1～第4」の項目（大項目）について評価を行う。

なお、法人においては、年度計画の小項目を必要に応じて細分化することができるものとする。

(1) 項目別評価【法人による小項目自己評価】

法人において、小項目ごとの進捗について、実施状況をできる限り定量的に記載するとともに、次の5段階で自己評価を行い、判断理由を記載した業務実績報告書（別紙のとおり）を作成する。法人は、各項目に市立病院としての役割や年度計画の重要度合いを考慮して、ウェイトを設定するとともにその理由を付記するものとする。

なお、業務実績報告書には、特記事項として、特色ある取組、法人運営を円滑に進めるための工夫、今後の課題などを自由に記載するものとし、自己評価は、病院ごとの実績がわかるよう工夫し、病院の自己点検に基づき、法人として行うものとする。

評価5・・・年度計画を大幅に上回って実施している。

評価4・・・年度計画を上回って実施している。

評価3・・・年度計画を順調に実施している。

評価2・・・年度計画を十分に実施できていない。

評価1・・・年度計画を大幅に下回っている。

(2) 項目別評価【評価委員会による小項目評価】

評価委員会において、法人の自己評価及び法人が設定する小項目、ウェイトなどを総合的に検証し、小項目ごとの進捗状況について、法人の自己評価と同様に「1～5」の5段階による評価を行う。その際、単に目標値及び前年度数

値と当該実績値の比較だけでなく、計画を達成するために効果的な取組が行われているかどうかも含め、総合的に判断するものとする。

評価委員会による評価と法人の自己評価が異なる場合は、評価委員会が評価の判断理由等を示す。

その他、必要に応じて、特筆すべき点や遅れている点についてコメントを付す。

(3) 項目別評価【評価委員会による大項目評価】

評価委員会において、小項目評価の結果、特記事項の記載内容などを考慮し、大項目ごとに中期計画の実現に向けた業務の進捗状況について、次の5段階による評価を行い、考慮した事項及びそのように判断した理由も記載する。

評価S：中期計画の実現に向けて、特筆すべき進捗状況にある

(評価委員会が特に認める場合)

評価A：中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる

(すべての小項目が3～5)

評価B：中期計画の実現に向けておおむね計画どおり進んでいる

(3～5の小項目の割合がおおむね9割以上)

評価C：中期計画の実現のためにはやや遅れている

(3～5の小項目の割合がおおむね9割未満)

評価D：中期計画の実現のためには重大な改善すべき事項がある

(評価委員会が特に認める場合)

なお、小項目評価結果の割合を算定するにあたっては、ウエイトを考慮した小項目数によるものとする。

2 全体評価の具体的方法

評価委員会において、項目別評価の結果を踏まえ、年度計画及び中期計画の全体的な進捗状況について、記述式による評価を行う。

全体評価においては、法人化を契機とした病院改革の取り組み(法人運営における業務運営の改善・効率化、財務内容の改善など)を積極的に評価するものとする。

その評価にあたり、項目別の結果とともに、主な取組や特色ある取組及び特に優れている点など特筆すべき取組について評価結果報告書(別紙のとおり)に記載するものとする。

また、評価の中で改善すべき事項については評価委員会の意見として評価結果報告書に記載するとともに、特に重大な改善事項については勧告を行うものとする。